

地方史情報 163

2023年9月

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道	1	石川県	32	奈良県	59
宮城県	2	福井県	34	和歌山県	60
山形県	3	山梨県	35	島根県	61
福島県	5	長野県	35	岡山県	62
茨城県	8	岐阜県	38	広島県	62
栃木県	10	静岡県	41	徳島県	64
埼玉県	12	愛知県	42	愛媛県	65
千葉県	13	三重県	46	佐賀県	69
東京都	16	滋賀県	47	宮崎県	70
神奈川県	25	京都府	48	鹿児島県	71
新潟県	30	大阪府	51	沖縄県	72
富山県	32	兵庫県	57	寄贈図書	72

北海道

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2・7ビル9階

Tel011-271-4220 <http://hokkaido-bunkazai.jp>

◇394 2023.7 A4 8p

北海道初の懸仏「六救さん」

塚田 直哉

令和5年度 (一財)北海道文化財保護協会 会員総会／令和4年度事業報告

業報告

笑顔の風俗画 林家旧蔵アイヌ風俗画画稿

石川 直章

国宝になる白滝遺跡群出土品と遠間栄治さん

野村 崇

シリーズ 伝える北海道遺産

しまの遺産を「たから」に一利尻しまじゅうエコミュージアム

山谷 文人

まちのイチオシ

千歳市の無形文化財 富山の流れをくむ「泉郷獅子舞」	直江 康雄
サハリンで発掘されたオリンピック意匠の陶磁器	鈴木 仁
MUSEUM ひろば 先人は川船でやってきた 美深町郷土博物館	渡辺 弘規

◆北方民族博物館だより 北海道立北方民族博物館

〒093-0042網走市潮見309-1 TEL0152-45-3888 1991年創刊

<https://hoppohm.org>

◇129 2023.6 A4 4p

表紙 感染対策用マスク イヌピアック・エスキモー

企画展関連講座 北の川の魚たち 講師：市村政樹氏 中田 篤

講座 環北太平洋の伝統的な捕鯨と物質文化 講師：野口泰弥 野口 泰弥

館長講座 ツンドラのレシピ：トナカイ遊牧民コリヤークの食物資源

利用 講師：呉人恵 呉人 恵

ロビー展 Extreme.Rslay.一伝統を継ぐレース 笹倉いる美

第38回特別展『北方民族の編むと織る』／関連講座

宮 城 県

◆東北民俗 東北民俗の会

〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科 宗教学研究室

FAW022-795-6022 年4000円 1966年創刊 <http://www.tohokuminzoku.com>

◇57 2023.6 A5 110p 1000円

宮城県における正月の獅子舞 笠原 信男

宮城県北部の在来種のルタバガー大島カブを事例として 小野寺佑紀

木伐り木出しの伝承(1)ーソリ引き・馬車引きの手わざ 小田嶋利江

宮城県丸森町における「永代供養墓」の実態 今野 正巳

秋田の三峯神社 石黒伸一郎

分割による杉沢比山・式舞五演目の振り付けの構造分析 平井 暁子

岩手県一関市域の鹿踊ー市域発生及び起源鹿踊の系譜整理 及川 宏幸

岩手県の祭り概観 東 資子

明治・大正期における郷土玩具の流通ネットワーク

ー福島県郡山市デコ屋敷の事例分析から 増藤 雄大

鮮魚から活魚までー福島県新地町のイサバと漁業者 川島 秀一

菅江真澄と「えずい」 稲 雄次

卒論・修論発表会(日本民俗学会談話会共催)の開催 「妖怪文化の観

光資源化について一座敷わらしの旅館「緑風荘」の事例から」平田
 夕貴、「人間の暮らしに活かされるケモノー福島県松枝岐村のヤモ
 ードにみるクマとのかかわり」秋葉貴人、「山形県村山地域におけ
 る出羽三山参詣の実態」鈴木千晴、「現代に生きた里修験ー地域社
 会における宗教生活の変容と里修験の社会的役割」加藤彩花、「八
 戸市小中野の諸相ー新むつ旅館とその界限」尾崎鈴寧、「授かる
 神」の再検討ー津軽地方における家の神の祭祀契機に着目して」
 佐々木太郎、「津軽系こけしにおける「伝統」とその変化」松山沙
 耶、「草木塔の現代的意義」安部央華、「地震神話における対立構
 造」及川ひな

2020年度東北民俗の会 年次報告

山 形 県

◆うきたむ考古 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 うきたむ考古の会
 〒992-0302東置賜郡高島町安久津2117 TEL0238-52-2585

<http://ukitamu.pupu.jp>

◇27 2023.3 B5 74p

講演会抄録 第30回企画展記念講演会「最上地域の縄文時代ー縄文の

女神の秘密」

阿部 明彦

山形県内のアイヌ語地名(7)

清野 春樹

上杉鷹山への道程

清野 春樹

石堂山館(楯)調査報告

高橋 登

佐藤鎮雄先生を想うー考古学を楽しもう

安彦 政信

追悼 長澤正機先生と最上の考古学

渋谷 孝雄

◆聴 雪 新庄古文書の会

〒996-0078新庄市新町10-4 大津純一方 TEL0233-22-6307 1997年創刊

◇27 2023.6 B5 65p

巻頭言 時は流れて四百年

武田 晴美

学習会 第1部 羽州太平記～抜粋「丹野与惣右衛門頓智之事」「長
 谷堂合戦之事」ー小屋家所蔵資料 講師：新国吉朗／解説：阿部
 修一・大津純一・武田晴美・梁瀬平吉

解 説

新國 吉朗

入力 解説文・解説文

新國 吉朗

学習会 第2部 輪読

「金田家文書」

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 1 出羽国最上川通船差配被仰付候ニ付公事出入取計方伺書 | 武田 晴美 |
| 2 覚（屋敷売券状） | 大津 純一 |

安政五年公事船改一円諸文通写

- | | |
|--------------------------------------|-------|
| 3 右返書（御供舟相改儀通達ニ及候筈） | 梁瀬 平吉 |
| 4 乍憚口上書以申上候（酒田船方より同所大庄屋衆へ亦々願
出候写） | |
| 5 無題〔御供舟相改請候儀〕 | 沓澤 正昭 |
| 6 庄内様御下ニ付酒田湊より之出役大庄屋衆へ文通写 | |
| 7 公事船改役皆川孫三へ之文通写 | 大津 純一 |
| 8 右書状相添皆川孫三方より酒田川舟衆へ遺文通写 | |

御城米破船ニ付 口書三通写 他

- | | |
|-----------------------|-------|
| 9 御見分書（清水地先におゐて及破船候） | 梁瀬 平吉 |
| 10 無題〔破船始末有躰申上〕 | 沓澤 正昭 |
| 11 御尋ニ付申上候書付（急流被押流破船） | 大津 純一 |
| 12 無題〔御手船借受御断〕 | |
| 13 御吟味ニ付申上候事（破船吟味） | 武田 晴美 |

村送書状四通

- | | |
|------------------------|-------|
| 14 乍恐以口書奉申上候御事（相果候者吟味） | 森 義行 |
| 15 乍恐以口書奉申上候（継送候途中死失） | 梁瀬 平吉 |
| 16 乍恐以口書奉申上候（死失候者見分） | |
| 17 乍恐以口書奉申上候（相果候者仮埋葬） | 森 義行 |

「樋渡家文書」 船乗指置申男之事

入力 解説文・解説文	大津 純一
	各 担 当 者

史料紹介・自由研究

羽州最上郡新庄本合海宿 正一位二ノ宮八幡宮縁起	大津純一／武田晴美
新庄古文書の会「会務報告」	大津 純一

◆村山民俗 村山民俗学会

〒990-0055山形市相生町2-10 岩鼻通明方 TEL023-623-5687 年3000円

1988年創刊 <https://blog.goo.ne.jp/murayamaminzoku/>

◇37 2023.7 B5 88p

立石寺弥陀洞の磨崖供養碑－供養碑建立者に関する検討	荒木 志伸
---------------------------	-------

村山地方における真宗寺院の展開

一本山よりの申物、下付された什物に見る展開	村山 正市
京都から伊勢までの民俗誌一半沢氏「旅日記」下巻(1)	野口 一雄

絵師・狩野永耕藤原応信の真相Ⅱ

ー落款からわかる六田の青山永耕との相違点
「Look for 伝承文化」で地域を「再発見」する試み
次年子などのアイヌ語地名とその文化
寺内宗門御改帳にみる湯殿山行人
会の歩みー二〇二二年度

野口 孝雄
菊地 和博
清野 春樹
岩鼻 通明

◆山形史学研究 山形史学研究会

〒990-0021山形市小白川町1-4-12 山形大学地域教育文化学部 歴史学研究室
内 TEL028-628-4391 <https://ymgt-shi.jimdofree.com>

◇51 2023.8 A5 78p

講演 道路由緒としての平泉藤原氏

ー近世における地域認識と平泉藤原氏観
羽州村山郡新町村に於ける紅花生産の一考察

岡 陽一郎

ー河北町『最上紅花史料』Ⅴを主な史料として
近世中期における紅花荷主の経営構造と上方取引(2)

鈴木 勲

ー出羽国村山郡山形城下町近郊の會田家を事例として
近世後期酒田葉種商西田家宛の通信状差出人と情報収集
追 悼

森谷 圓人
小野寺雅昭

横山昭男先生のご逝去を悼む

山内 励

梅津保一先生の御逝去を悼む

森谷 圓人

2022年度 山形史学研究会大会報告

福島県

◆郡山地方史研究 郡山地方史研究会

〒963-8876郡山市麓山1-8-3 郡山市歴史資料館内 TEL024-932-5306
1965年創刊

◇53 2023.3 A5 72p

郡山合戦

高橋 明

「葦屋郷」について

佐藤 新一

群峯吟社の俳人たち(4)・郡山俳壇史7 隅水吟社を主導し、群峯吟社

の客員となった 石巻出身の俳人金森利兵衛(匏瓜)

庄司 一幸

二本松市若宮町岡田屋土蔵に記された「薩州分捕」について

田中 英雄

郡山に根付いた会津唐人風の継承者と戊辰戦争

ー戊辰戦争の会津鶴ヶ城籠城六日目の風揚げを背景として

齋藤 誠一

◆フークトープ通信 フークトープ通信社

〒960-8021福島市霞町9-38 シュタースティエ102室 山田英明方

2015年創刊

◇56 2023.8 A4 2p

郷頭による学びの場―会津藩領高田村継声館を事例に
フークトープ紀行(56) 鍋転ばし坂(須賀川市)

渡邊 歩
赤井 武史

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団

〒960-8018福島市松木町13-16 Tel.024-534-9193 2002年創刊

<https://www.fcp.or.jp/history/>

◇66 2023.6 A4 4p

庄司吉之助旧蔵の『自由新聞』
明和七年・天保七年に降ったとされる龍の毛
会津藩における天明飢饉の死者の供養
井伊直弼の死と手毬歌
関寛斎が建立した甚袈裟の官修墳墓
新渡戸稲造の教え子であった荊幸幸治郎

山田 英明
小野孝太郎
小野孝太郎
片村 峰雪
渡邊 智裕
渡邊 智裕

◆文字摺通信 ふくしまの歴史と文化財

〒960-8204福島市岡部字東町35-6 守谷早苗

◇43 2023.7 A4 4p

一筆啓上 文化庁様、このところ少しおかしいです！？
登録無形文化財「書道」

七つの子(1)

山口厚氏撮影第一小学校コレクションより

◇44 2023.7 A4 4p

摺上川支流赤川の層内褶曲を見してきました。とにかく圧倒されて、
「へえ〜！」としか言えませんでした。／是非、福島市指定天然記
念物に！！

七つの子(2)

◇45 2023.8 A4 4p

福島第一小学校資料『明治四十五年度 唱歌科教授細目』から

当時6年生はどんな唱歌を習っていたか

七つの子(3)

在庭坂の阿保原地蔵尊を訪ねてきました。

◇46 2023.8 A4 4p

二ツ小屋隧道保存会行事 中野新道 学びと散策 3 Days 無事終了！

世界遺産の正式名称をご存知ですか。

「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」

七つの子(4)

◆安蔵つうしん 「鈴木安蔵を讀える会」ニュース

〒979-2533 相馬市坪田字八幡前21 志賀勝明方 TEL0244-26-4645 2022年創刊

◇10 2023.6 A4 2p

5月3日、初の総会と金子勝先生講演会を開催 総会の報告

◇11 2023.6 A4 2p

施行76年の憲法記念日に金子勝先生講演会 断片的ですが《講演の抄録》 演題「鈴木安蔵先生をたずねて 先生の眼から世界の平和を考える」

金子勝先生の講演会を聴いて思うこと とても解りやすいお話でした
南相馬市原町区 浜名弘美さん／「講演のCD」で拝聴しました
宮城県栗原市志波姫 鈴木道夫さん

5月3日憲法記念日に鈴木安蔵をコラムで紹介

憲法施行76年の2023年5月3日『福島民報』1面「あぶくま抄」

◇12 2023.7 A4 2p

鈴木家住宅や本会が次々新聞に掲載 「鈴木安蔵の実家修繕へ 南相馬市出身の憲法学者 大正時代の住宅守る」6月25日付『福島民報』ワイド面

シロアリ被害は「朝日新聞」と「福島民友」に掲載 「日本国憲法のもと「憲法草案要綱」 鈴木安蔵の旧宅危機」5月4日付『朝日新聞』福島版

◇13 2023.7 A4 2p

鈴木家住宅の今後の展望

志賀 勝明

本会の活動が初めてテレビニュースに

「ただいま活動中 憲法学者の生家守る 鈴木安蔵を讀える会(南相馬市小高区)」6月18日付『読売新聞』福島版

◇14 2023.7 A4 2p

思い出 鈴木家と交流して(2022年11月記・「九条はらまち」No.384か

ら一部を、志賀様のご了承を得て転載しました)

志賀 達次

茨 城 県

◆茨城史林 茨城地方史研究会（発売：筑波書林）

〒310-0053水戸市末広町1-5-39 久信田喜一方 TEL029-222-1228

年3000円 1972年創刊

◇47 2023.6 A5 162p 1182円

巻頭言 一年間の研究会活動を振り返って

久信田喜一

『常陸国風土記』からみた古代の茨城(2)

久信田喜一

関東天台の学僧たち

内山 純子

旧弘道館内に設立された私立水戸幼稚園

額賀せつ子

史料紹介 「足尾神社祠官大沢順軒」を追って(2)

一大沢順軒編「台桜雑詠」

田淵 正和

史料紹介 三島中洲・安積澹泊と南朝顕彰—三島中洲「南朝顕彰碑」

と安積澹泊「大日本史賛藪」を中心として

久信田喜一

新刊紹介

地方史研究協議会編『海洋・内海・河川の地域史—茨城の史的空間』

永井 博

大藤修著『近世庶民社会論—一生老死・「家」・性差』

永井 博

内山純子著『談義所から檀林寺へ』

飛田 英世

常陸歴史研究同好会『内田正人所蔵史料集(一)』

飛田 英世

淑徳大学アーカイブ叢書『浄土宗関東十八檀林 大念寺日鑑一〜五』

永井 博

近江礼子著『文化12年の清水浜臣著「総常日記」—鹿島・筑波紀行』

長谷川良子

史料調査班調査報告 水戸市立博物館保管藤田北郭関係資料・弘道館

所蔵小林家文書の調査

久信田喜一

令和四年度 活動概況報告

◆下妻の文化 下妻市文化団体連絡協議会

〒304-0056下妻市長塚乙77 TEL0296-43-3418 1976年創刊

◇48 2023.5 A5 115p

表紙の写真

下妻市指定文化財 古文書「宗任明神社領 朱印状 十三状」

「下妻の文化」第四十八号発刊にあたって

國府田 晋

子どもたちの未来のために

菊池 博

「下妻の文化」発行に寄せて

廣瀬 榮

祝 辞

寄稿文「檜枝岐歌舞伎を訪れて」

五月晴れのもと「行道山淨因寺(足利市)」を訪れる

カミュの「ペスト」とコロナ禍に思う

邂逅

他者、周囲から学ぶ日々

老後の今を楽しむ

コロナ禍の三年間(教育委員として)

『大正七年茨城縣贈位者事蹟』における飯田軍蔵利貞の「師」について

デジタル社会の向こう側

「エンディングノート」

印象的だった長和殿、そして旧友との再会

川と自然(2)

「80歳の壁」と③年日記

横山大観作「釈迦」と飯村丈三郎の縁

活動のあと(令和四年度)

令和四年のあしあと

飯塚 秋男

大塚 武彦

外山 崇行

鮎川 好夫

中山 均

酒寄 享一

武笠 昇

齊藤 修一

佐久間秀樹

渡邊 剛

植木 正明

中島 成行

吉原 好男

國府田 晋

塚越 節

各 団 体

中山 春男

◆常陸大宮の記録と記憶 常陸大宮市文書館報

〒319-2226常陸大宮市北塩子1721 TEL0295-52-0571

◇8 2023.3 A4 122p

部垂の乱をめぐる記憶と由緒意識

講演録 第12回文書館カレッジ 佐竹氏の秋田転封とその影響

水戸藩村方文書のことば(4) た〜わ

『新編常陸国志』と『水府志料』が伝える岩石・鉱物・化石考

菊池芳文／高村恵美

活動報告 令和3年度常陸大宮市歴史民俗資料館・文書館連携展示

3.11からの歴史資料保全活動―災害から地域の歴史と文化を守る 高橋 拓也

年報 1 常陸大宮市文書館の概要／2 令和3年度事業報告

◆歴史文化研究(茨城) 歴史文化研究会(茨城)

〒270-0035千葉県松戸市新松戸南2-25-B 205 三石善吉方 TEL047-345-5323

年5000円 2014年創刊

◇10 2023.7 A5 106p

巻頭言 ICC、プーチンらに逮捕状

三石 善吉

「人と人との関係」をめぐる幾つかの論説—その検討と考察	関口 順
サウナの起源—何時、何処で、誰が？	三石 善吉
茫茫の記—ほろ苦い青春の記憶	佐藤 守弘
古典抄 『藤岡屋日記』・雑記	鈴木 俊一
海外報告 トンガ通信：社会事情と人々の暮らし	高島 宏明
報告 大周天と私	関口 順
新刊紹介	
加納喜光著『漢字イメージネットワーク辞典』	三石 善吉
三石善吉著『フィンランド 武器なき国家防衛の歴史—なぜソ連の 〈衛星国家〉とならなかったのか』	関口 順
追悼 会員岩崎氏の急逝を悼んで	太田・丸谷・高島・三石
事業報告 2022(令和4)年度(22年5月～23年4月)	

栃 木 県

◆大田原市なす風土記の丘だより

大田原市なす風土記の丘湯津上資料館 〒324-0403大田原市湯津上192
 TEL0287-98-3322 <http://www.vcity.ohatawara.tochigi.jp/docs/2013082772084/>
 大田原市歴史民俗資料館 〒324-0403大田原市湯津上194
 TEL0287-98-2151 <http://www.vcity.ohatawara.tochigi.jp/docs/2013082772237/>

◇4 2023.3 A4 8p

館長あいさつ	上野 修一
侍塚古墳発掘、330年！	鈴木 志野
今年はこんなことがありました	
なす風土記の丘資料館では…	鈴木 志野
歴史民俗資料館では…	宮澤 友美
なす風土記の丘湯津上資料館	
ミニ企画展「探検！大田原の遺跡—令和3年度発掘調査速報展」	鈴木 志野
歴史と観光シンポジウム開催「文化財を活用した地域づくり—実践 報告と大田原市への提言」	鈴木 志野
秋季特別展「日本考古学発祥の地—徳川光圀侍塚古墳発掘330年を 記念して」	鈴木 志野
歴史民俗資料館 企画展「祈りの形—大田原の信仰、新寄贈資料を中 心に」	宮澤 友美
なす風土記の丘湯津上資料館 速報！発掘調査の成果 佐良土上の原 Ⅱ遺跡2次(OTSUⅡ)	上野 修一

考古学資料紹介「有段口辺壺」	鈴木 志野
佐良土のしめ縄づくり	宮澤 友美
民俗資料紹介「百万遍念仏」	宮澤 友美
史料紹介 木村光一家文書「系図」	上野 修一
歴史民俗資料館 なす風土記サロン「ふるさと再発見講座」	宮澤 友美
講座 見て、さわって、訪れて	鈴木 志野

◆史 談 安蘇史談会

〒327-0004佐野市赤坂町229 大高八三郎方 TEL0283-24-3232

年2000円 1985年創刊

◇39 2023.6 A4 162p

口絵写真 説明 王欽古《桃李園夜宴図》(吉澤象水賛) 絹本着色

一幅 縦146.9×横56.9cm 佐野市立吉澤記念美術館寄託(吉澤コレクション)

末武さとみ

巻頭言 司馬遼太郎生誕百年に考えること

海老原脩治

江戸時代に佐野で活躍した刀工 稲垣將應

冥賀 明儀

剣道と居合道の歴史

青山 守

江戸の名主 馬込勘解由一馬込家文書を読み解く

高山 慶子

王欽古『潤筆収入簿』(佐野市郷土博物館所蔵)について

一南画家の明治三〇年代

末武さとみ

星宮神社敷地内にある社と石碑

大川 圭吾

講座「第三八回安蘇の風土と歴史」の開催状況

安蘇史談会

島田嘉内家酒造り三五〇年の歴史—その1

一徳川幕府の酒造統制と米価調節

大高八三郎

学校日誌に見る国民学校の行事

田沼 清

史料紹介 鎌倉時代後期の佐野氏について(1)

鴨志田智啓

佐野昌綱の没日について

川田 春樹

ふるさとの岩崎邑(現・佐野市岩崎町)の伝承についての考察

黒田 哲哉

史料に読む幕末・下野国【出流山事件】(4)一佐野川原での処刑、関

東取締出役宅襲撃、薩摩藩邸の焼討、赤報隊(官軍先鋒嚮導隊)、文

人・赤尾清三郎のことなど

海老原脩治

日光方面に狛犬を訪ねて

安蘇史談会

三年ぶりの初詣見学会を小野寺地区で実施

安蘇史談会

表紙解説 栃木市岩船山高勝寺の栃木県指定文化財の三重塔(永島正

夫会員の作品)

◆歴文だより 栃木県歴史文化研究会会報

〒320-0865宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
年4000円 1991年創刊

◇128 2023.7 A4 4p

《特集 栃木県と鉄道》

栃木県と鉄道

重藤 智彬

栃木県内の鉄道敷設～芳賀郡の鉄道敷設を例に

岩下 祥子

北那須地域に展開された鉄道計画

金井 忠夫

新刊紹介

塙静夫著『とちぎの石像物』

島田佐智夫

北口英雄著『とちぎの仏像』

深沢麻亜沙

埼 玉 県

◆埼玉文化財だより 埼玉県文化財保護協会

〒330-9301さいたま市浦和区高砂3-15-1 埼玉県教育局市町村支援部
文化資源課内 TEL048-830-6912

◇145 2023.3 A4 4p

コロナ禍における鷲宮催馬楽神楽の継承活動

久喜市教育委員会

新・ぶんかざいはいけん 入間市 入間市の歴史と文化財／石川組

製糸と西洋館／石川組製糸関係資料

文化財ニュース 新市指定文化財二件の新指定と公開（所沢市）／歴

史民俗資料館（れきしてらす）移転オープン（新座市）

協会の動き

◆幸手市文化遺産だより 幸手市教育委員会

〒340-0125幸手市大字下宇和田58-4 幸手市郷土資料館 TEL0480-47-2521
2004年創刊

◇20 2023.3 A4 4p

「芸術写真」に取り組んだ青年アマチュア写真家たちの群像

表紙：浜田得一と「東武写壇」のアマチュア写真家たち

東武写壇『むさし野』

ーアマチュア写真家たちの「芸術写真」研究の足跡

特別寄稿 祖父・浜田得一について

塩澤 秀樹

◆ふじみ野市文化財だより ふじみ野市教育委員会社会教育課文化財保護係
〒356-8501ふじみ野市福岡1-1-1 TEL049-220-2088

◇9 2023.3 A4 4p

市指定文化財の紹介 西養寺の鉄造阿弥陀如来像

新河岸川周辺の文化財や史跡を訪ねてみよう！ ①長宮氷川神社／②

三福学校／③大杉神社／④早船発祥の地／⑤西方稲荷／⑥耕地整理

の記念碑／⑦福寿稲荷神社／⑧旧観音堂(観音山)／⑨旧日蔭寮／⑩

旧釈迦堂(釈迦山)／⑪福岡村(町)役場跡

千葉県

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1152我孫子市寿1-3-12 荒井方 TEL04-7182-2838

<http://abikosisiken.main.jp>

◇253 (通560) 2023.6 A4 16p

古代・中世史部会が発足しました。以下、総会議事録を掲載します。

古代・中世史部会 6月の活動報告

テーマ「古代・中世史部会の今後の運営方針について」 報告者・星野征朗

古文書火曜部会 5月度活動報告

享保の渡来象関連資料 33～36頁 後藤 美鈴

「我孫子市史を読む会」6月度活動報告

『我孫子市史近世編』ダイジェスト版 ページ15～ページ22 萩原 正美

井上家文書研究会 6月の活動報告 No.907 寛政5年丑8月「当丑

年田方御検見御案内帳(相嶋新田)」、No.908 寛政5年丑8月「当丑

年田方御検見御案内帳(三河屋新田)」、No.226D 寛政5丑年浅岡彦

四郎㊦「寛政4子御年貢皆済目録」(相嶋新田・古新田)、No.226C

寛政5丑年浅岡彦四郎㊦「寛政4子御年貢皆済目録」(相嶋新田・

反高水内見取の分) 岡本 和男

古文書解読日曜部会 「牛久騷動女化日記 全」(故高島眞一氏所蔵文

書) p71～p75終わりまで 中林 孝

青山台フェニックスクラブ講演会 「柴崎村の奥行」

東 日出夫

資料紹介 中峠・八幡神社境内絵図(明治6-8年頃)発見

飯白 和子

◇254 (通561) 2023.7 A4 18p

市原歴史博物館を訪ねました

東 日出夫

「市原歴史博物館 見学会」に参加して

金古 尚

合同部会 7月の活動報告 社寺調査報告書冊子化

山本 包介

古文書火曜部会 6 月度活動報告

「川岸場一件扣書」(享保四亥年ノ同十八丑年迄) 都通憲三朗

「我孫子市史を読む会」7 月度活動報告

『我孫子市史近世編』ダイジェスト版 ページ22～ページ229 萩原 正美

井上家文書研究会 7 月の活動報告 No.276「丑御年貢可納割付之事」

寛政5丑年10月(相島新田)、No.1997「差上申一札之事」寛政6年寅7

月、No.1026「反高見取場御検地野帳之写」寛政6年寅ノ6月朔日(相島新田)

品田 制子

古文書解説日曜部会 7 月の活動報告

旧根戸村「文久3年 御用留」(川村一夫家文書) 中村 千由

7 月「古代・中世史部会」活動報告

「我孫子の後期旧石器と縄文の遺跡で『川』を想う」宗岡恒雄会員 宗岡 恒雄

藤代宿本陣生まれの相島新田井上二郎 近江 礼子

◆千葉史学 千葉歴史学会

〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学文学部内 TEL043-251-1111

年4000円 1982年創刊 <http://chibareki.blog.fc2.com>

◇82 2023.5 A5 128p

巻頭随想 歴史総合・日本史探究・世界史探究と現場の悩み 渡辺 哲郎

特集 房総の牧を探る—古代から近現代まで

特集にあたって

古代上総国における牧の諸相 浅野 健太

戦国期下総の牧について 外山 信司

「房総の牧」研究の現在地 近世史部会共同研究グループ

「馬匹改良」と源村 上田 浄

佐倉はなぜ炭の産地になったのか

—佐倉牧から見た江戸地廻り経済圏の授業実践 深田富佐夫

記念講演 東日本における古墳時代の馬正産

—生産システムとその多様性 若狭 徹

討論要旨

大会参加記

第四〇千葉歴史学会大会参加記 白井久美子

中世史部会報告「戦国期下総の牧について」に参加して 道上 文

近世史部会の報告を聞いて 武田 真幸

大会参加記—近現代史部会報告を中心に 矢嶋 毅之

活動の記録 共同研究「房総の牧—古代から近現代まで—」の合同

例会について

文献史料からみた古代の牧と東国

服部 一隆

牧の設置環境からみた古代房総の牧と近世房総の牧との接点につ

いて

石渡 芳樹

討論要旨

文責・石渡芳樹

近世史部会主催合同例会／中世史部会・近現代史部会主催合同例

会

新刊紹介

滝川恒昭著『里見義堯』

錦織 和彦

竹井英文著『戎光祥城郭叢書 3 杉山城問題と戦国期東国城郭』

江澤 一樹

見学記 福沢諭吉記念慶應義塾史展示館を見学して

千葉県立千葉高等学校 郷土研究部(戸部慶真・高橋楓雲・渡邊葵子)

例会報告 古代史部会 2022年7月例会 石渡芳樹氏「房総の牧の共同研究の成果と今後の展望」、服部一隆氏「香取文書にみる葛原牧の研究史整理」／2022年9月例会 加藤貴之氏「下総国における牛馬関連遺物出土状況―国府と印旛沼周辺を中心に」、栗田則久氏「牛牧と谷津貝塚」／2022年11月例会 国立歴史民俗博物館国際企画展示「加耶―古代東アジアを生きた、ある王国の歴史」の見学会／2023年1月例会 立原遼平氏「常陸国の馬匹生産と牧―馬具・焼印・墨書土器の集成からわかること」、白井久美子氏「古墳時代の房総における馬文化」

文責・石渡芳樹

例会報告 近世史部会 2022年10月例会 千葉市立郷土博物館企画展「甘藷先生の置き土産―青木昆陽と千葉のさつまいも」合評会／

2023年1月例会 「房総の牧」共同研究、大会報告反省会

文責・小田真裕

例会報告 近現代史部会 2023年3月例会 佐藤海斗氏「夷隅事件―千葉県の自由民権運動」

◆房総石造文化財研究会会報

〒275-0001習志野市東習志野5-30-4-404 木原律子方 TEL047-473-3540

年3000円 1980年創刊

◇146 2023.7 A4 8p

令和五年度総会報告

石仏見学会参加記 千葉市高品町の石仏見学会に参加して

水垣 清志

会員投稿 北総の愛染明王塔&二十六夜塔

藤 由美

◆房総の石仏 房総石造文化財研究会

〒275-0001習志野市東習志野5-30-4-404 木原律子方 TEL047-473-3540

年3000円 1982年創刊

◇29 2023.7 B5 48p

磐城薬王寺と下総大慈恩寺の板碑(2)

川戸 彰

利根運河周辺旧道の道標

新保 國弘

佐倉市直弥の宝金剛寺石造物調査について

藤 由美

千葉県印旛郡栄町北辺田の金刀比羅神社と丸亀街道の奉納丁石

米谷 博

口絵写真解説 牛頭天王の姿

玉井ゆかり

東 京 都

◆アーカイブ通信 ネットワーク・市民アーカイブ

〒189-0012東村山市萩山町2-6-10-1F TEL042-396-2430 年6000円

2014年創刊 <http://www.c-archive.jp>

◇28 2023.7 A4 8p

被害者の声を伝え対話の場をつくりたい

—原子力災害考証館 Furusato

里見 喜生

シリーズ“現場”を訪ねる(8) 福島原発事故の記憶と検証

—双葉町・富岡町・いわき市を訪ねる

杉山 弘

第9期緑蔭トーク報告 第1回 市民活動 私の履歴書—べ平連、声

なき声の会、憲法の会、くらしうた研究会… 細田伸昭(市民のひ

ろば・憲法の会／シビル)

記・細田

ミニコミ紹介

『めだかだより』 めだかクラブ 1979年創刊

久保 瑞紀

『現代女性文化研究所ニュース』 現代女性文化研究所 2002年創刊

岡田 孝子

2023.2.4 集会報告 多摩地域公共図書館のミニコミ収集状況と市民

アーカイブ多摩の新目録を考える

中村 修

市民アーカイブ多摩の四季(14) 夏 ブルーベリー

邑田 仁

リレーエッセイ〈市民アーカイブ多摩のひと〉(4)

歩くの大好き、お遍路さん

山口真理子

ネットワーク・市民アーカイブ2023定期総会報告

江原 晃子

◆あしなか 山村民俗の会

〒330-0854さいたま市大宮区桜木町4-201-2 塩野谷明夫方 TEL048-465-7818

年5000円 1939年創刊

◇327 2023.6 B5 12p

表紙解説 谷文晁画『日本名山図會』所収、「上総鹿野山」遠望図	編集室
『石神問答』の出版と、「イシガミ」と読まなかった人々	関 啓司
漁師町網代と長谷観音・伊豆東岸・朝日山山麓の歴史と信仰	岡倉 捷郎
山里だより(36) 春・山野草の花―丹波美山	西浦 左門

◆荒川ふるさと文化館だより

〒116-0003荒川区南千住6-63-1 TEL03-3807-9234 1998年創刊
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a016/bunkageijutsu/furusato/>

◇49 2023.3 A4 4p

荒川ふるさと文化館 展示の一部のリニューアルして令和5年4月1日
に展示室再開！

企画展こぼれ話(14) きれいな水が届けられるまで	高柳 吟音
令和4年度 荒川ふるさと文化館の活動と文化財保護活動	
職人こぼれ話(18) 額縁職人が語る高橋由一の《鮭》の額	野尻かおる

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館

〒183-0026府中市南町6-32 TEL042-368-7921 1987年創刊
<http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>

◇144 2023.6 A4 10p

表紙 府中市本宿町遺跡の土偶	
どんなもんだい？縄文時代 その1 本宿町遺跡の土偶たち	石澤茉衣子
最近の発掘調査 謎の窪みをもつ古代道路遺構	
寿町三丁目・緑町一丁目	湯瀬 禎彦
NOTE 行在所になった府中の大店	荒 一能
展示会案内 特別展「どんなもんだい？縄文時代」	石澤茉衣子
展示会案内	

企画展「田村智久写真展 花の森八景第2章 ヒカリトワ」	荒 一能
series みち〜道・路・通〜(1) 水の路が緑の道へ	佐藤 智敬
令和4年度 寄贈資料一覧／令和4年度 利用状況／新刊案内	
近代プラネタリウム誕生100周年！ プラネタリウムについて知ろう！	
(1) 世界初の光学式プラネタリウムの誕生	村井 太一

◆大森海苔のふるさと館ニュース 海苔のふるさと会

〒143-0005大田区平和の森公園2-2 TEL03-5471-0333

<http://www.norimuseum.com>

◇89 2023.1 B5 2p

新年のご挨拶

中村 博

昨年はこんなニュースがありました！一今年もよろしくお願い申し上げます

げます 各種イベントを再開／館内一部利用制限解除／2年連続！

海苔採り

60年前のお正月一昭和38年 大田区最後の海苔採り

(五十嵐)

◇90 2023.3 B5 2p

浜辺に設置した海苔網の様子をご報告します！

(滝本)

海苔の入札のいまとむかし

(牧野)

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒175-0092板橋区赤塚7-18-7 <http://okumusasi.travel.coocan.jp>

◇452 2023.7 B5 21p

表紙 「杉ノ峠」江戸時代 秩父から甲州へ 画・市瀬ふみ氏

奥武蔵・秩父の魅力とは

小泉 重光

鐘撞堂山点描—防空監視哨と金嶽観音堂

野口 実

浦山口の山々(2)

小泉 重光

変わった三角点の話(上)—谷川岳には三角点がない

町田 尚夫

吉田修さん “どうして”

加藤 恒彦

山行報告

第二天覧山から宮沢湖周遊

岡野 守

龍ヶ谷から飯盛山

小泉 重光

西上州・神成山九連峰

高橋 澄夫

◆北区飛鳥山博物館研究報告

〒114-0002北区王子1-1-3 TEL03-3916-1133 1999年創刊

◇25 2023.3 B5 87p

『六阿弥陀伝記』覚書—刊行経緯と熊野信仰及び在地に関する記述 加増 啓二

1930年代の北区域における「郷土教育」に関する取り組み

工藤 晴佳

プロイセン使節団から見た「王子稻荷」—W.Heine 著『Japan』より 谷口 とし

資料紹介 「大日本職業別明細図之内滝野川町・巢鴨町・西巢鴨町」 佐々木 優

調査報告 十条富士講令和4年度大祭および富士吉田市所在石造物等

調査報告

北区民俗調査団 山崎祐子・糸智子・佐藤照美・田中葉子

年報 博物館の概要／博物館事業報告／文化財保護事業報告

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691板橋区板橋北郵便局私書箱50号 TEL03-3967-1948
年6000円 1993年創刊

◇122 2023.7 A4 6p

虎居城発掘調査で庭園遺構（南日本新聞 2023年4月28日記事より）

最近の城郭ニュースから1 安土城復元プロジェクト 令和の大調査
スタート／赤穂城 山鹿素行が石垣拡張か

最近の城郭ニュースから2 仙台城 石垣復旧手つかず／長沼城 公
開講座の内容から／大高城 現地説明会から／岡豊城跡北麓に造成
地跡

最近の注目される城郭図書から 岡寺良・中山圭・浦井直幸編著『九
州の名城を歩く』熊本・大分編、北野信彦著『天下人たちの文化戦
略』、戦国の忍びを考える実行委員会 埼玉県立嵐山史跡の博物館
編『戦国の城攻めと忍び』、新井浩文編著『旧国中世重要論文集成』
武蔵国

秋の旅行会より／各地の城郭研究会の活動から 日本古城友の会、和
歌山城郭調査研究会、戦国と城を学ぶ会

日本城郭史学会活動から 四月総会・大会、五月見学会 武蔵滝山城

◆杉並郷土史会史報

〒167-0053杉並区西荻南1-12-8 幸田方 1973年創刊

<http://www.sugi-chiiki.com/rekishikai/>

◇299・300 2023.6 A4 16p 400円

祝 杉並郷土史会会報三〇〇号達成

会報目次一覧〈付：キーワード・人名・地名〉 第251号（平成27年／



2015 5月)～第299・300号(令和5年/2023 5月)

歴史講演会の記録一覧 平成27年(2015)～令和5年(2023)/史跡見学会の記録一覧 平成26年(2014)～令和5年(2023)/バス見学会の記録一覧 平成26年(2015)～令和元年(2019)/東京七福神巡りの記録一覧 平成27年(2015)～平成30年(2018)

『杉並郷土史会会報合冊六巻』の発行 一冊4000円(本誌・CD)

＊杉並郷土史会は1973年5月に6人の有志で設立された。その年の8月に創刊された会報が、本年6月で300号を迎えた。

第299・300合併号は、第251号(2015.5)～第299・300合併号(2023.6)の総目次、2015年以降の歴史講演会一覧、2014年以降の史跡見学会とバス見学会一覧、2015年以降の東京七福神巡り一覧を掲載する。総目次には論考毎にテーマのキーワードと、テーマに応じた研究対象人名及び地名が付されている。歴史講演会は年に10回前後開催されており、他の活動と合わせるとほぼ毎月行事が催されていることになる。会報も隔月に刊行されており、旺盛な活動に敬服させられる。

会報はこれまで50号毎に合冊されてきたが、今回も合冊第6巻として冊子版とCD版で発行された。合冊する意図は、「杉並区民の役に立ち、地域に貢献(知の宝庫・地域資源)」ためであり、その特徴を、①「体験的過去」の記録、②蓄積された記録「継続性」、③各種資料の宝庫、としている。「体験的過去」とは、井伏鱒二、太宰治、棟方志功、大山康晴、杉下茂、若乃花幹士、近衛文麿ら区内で生活した人物の血の通った体験談の掲載に力を入れてきたことを指しており、貴重な記録である。CD版では、総目次に付したキーワード、人名、地名からの検索ができる。申込みは同会へ。

題字は区内で古書店「芳雅堂」を営業していた直木賞作家 出久根達郎氏によるものである。

◆世田谷区誌研究会会報

〒158-0094世田谷区玉川3-30-5 野岸敏雄方 年2000円

<https://setagaya-kushiken.jimdofree.com>

◇2023-7 2023.7 A4 6p

機関誌「世田谷(せたかい)」について

教えて「森厳寺」の反響/古記録に見る森厳寺

薄井 恒雄

世田谷の民話(49)

刀鍛冶のうつ鋏と鎌の槌音/現在の民話のふるさと

作者・桜井正信

世田谷の民話(50) 農夫宇兵エ、熊野の土で上北沢を救う/現在の民

話のふるさと

作者・桜井正信

◇2023-8 2023.8 A4 6p

お知らせ 10月19日 伊藤先生の「江戸幕府崩壊と徳川御三家」が

Youtube であっぶされました。予習をかねてご覧ください。

北条幻庵覺書（世田谷区郷土資料館蔵 資料館HPより）

世田谷の民話(51) 明神池を立ち退きされた龍神様

世田谷の民話(52) 乳いちょう

佐藤 敏夫

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 TEL03-3307-2146

<http://daidogeinfo>

◇379 2023.6 A4 2p 100円

夏の生業 両国の夕涼み／屋台の茶店／ちやるめる(ら)／楊弓場／陰
芝居(影戯)／按摩／花林糖売り／枝豆売り／さんげさんげ／汁粉売
り／新内流し／すいとん売り／水菓子屋の店先／その他の生業 の
ぞきからくり、絵解 地獄極楽、麦湯(麦茶)店で夕涼み、心太屋台、
両国花火

◇380 2023.7 A4 2p 100円

富(冨)土山山開き

七夕と井戸浚い 盂蘭盆、盆踊り

金魚売り／風鈴売り／心太売り／深夜往來の飲食

◆東京産業遺産学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮根団地105 多田統一方 FAX03-
3964-8548／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須紘一方 FAX048-479-
7490 年2000円 <http://tias3.web.fc2.com>

◇161 2023.7 A4 6p

新著紹介 中川洋著『産業遺産でめぐる川崎の鉄道史』／

研究発表『産業遺産情報センター所蔵古写真のデジタル文書化』につ

いて

小野崎敏／馬場誠二

報告 横浜新港埠頭周辺見学会

吉田 修

5月理事会報告

茨城県北茨城市の赤煉瓦建築物(1) 大津港駅前煉瓦倉庫 文・写真 八木司郎

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース

〒136-0073江東区北砂1-5-4 政治経済研究所 TEL03-5857-5631

年2000円 2002年創刊 <https://www.tokyo-sensai.net>

◇43 2023.7 A4 12p

巻頭言	吉田 裕
今年度のセンターの取り組み／2023年夏休み特別企画のお知らせ	
語り継ぐ 2022年度の来館状況について	
新しい寄贈資料の紹介 疎開児童が使っていた道具箱、学寮日誌、疎	
開児童の日記、疎开学童の画文集「思ひ出」	比江島大和
「東京大空襲を語り継ぐつどい」開催報告	工藤 芳弘
3月10日、4年ぶりにハーブ鎮魂演奏会を開催しました♪	
未来から来る人に、空襲体験記を託す 企画展「空襲体験記を書く、	
一冊に編む」を終えて	山本 唯人
「東京空襲犠牲者の名前を読み上げ、心に刻む集い・2023」を開催し	
ました	河井 節子
憲法第9条を守り抜く	大竹 正春
ボランティアガイドから	田部井涼生

◆日本民俗音楽学会会報

〒252-0383相模原市南区文京2-1-1 相模女子大学学芸学部 岡部芳広研究室
 気付 <http://www.s-jfm.org>

◇59 2023.7 B5 20p

巻頭言 共同研究会の企画・運営と藤井知昭先生	岩井 正浩
第36回東京大会のご案内	伊野 義博
追 悼	
藤井知昭さんの遺したもの	小島 美子
藤井知昭先生と民族音楽学研究	福岡 正太
藤井知昭先生を偲んで	黒田 清子
研究例会報告 第11回研究例会報告	川崎 瑞穂
発表要旨 研究発表 児玉絵里子会員 奈良豆比古神社の翁舞（奈	
良県）と犀川神社太々神楽三番叟（長野県）一音曲と所作にみる猿	
楽の系譜考／リレートーク① 加藤勲氏（沖縄県立芸術大学大学	
院音楽学専攻修士課程）日本のサンバ事情／リレートーク②	
平井暁子氏（パリ第8大学臨時講師）民族音楽学とポストコロナ	
時代の展望—フランスの場合／リレートーク③ 奥谷公胤氏（フ	
ランス国立高等研究院東アジア文明研究センター研究員）ドイ	
ツの音楽事情と日本の伝統文化受容	
発表余話 奈良豆比古神社の翁舞（奈良県）と犀川神社太々神楽三番	
叟（長野県）一音曲と所作にみる猿楽の系譜考	児玉絵里子
リレートーク&座談会 日本・世界の民俗音楽・祭礼の現在	

—コロナ禍を中心に

日本のサンバに対するブラジルサンバ従事者のまなざし

—打楽器奏者としての参与経験から

民族音楽学とポストコロナ時代の展望—フランスの場合

南ドイツの民族音楽事情と欧州の神道受容の現状について

例会参加記 「民俗」音楽とは何か

第11回研究例会(オンライン)の様子

退任挨拶 事務局長としての任期を終えて

「小島美子・藤井知昭基金」運営委員会から／理事会報告

常置委員会からのお知らせ／会計からのお願い／会員の動向

寄贈図書・資料の紹介

加藤 勲

平井 暁子

奥谷 公胤

荒木 真歩

磯田三津子

◆練馬郷土史研究会会報

〒179-0072練馬区光が丘5-2-3-806 鎌田茂男方 TEL03-3977-3091

年2000円 1956年創刊

◇389 2023.7 A4 2p

練馬城址と周辺寺社、カネボウ跡地を巡る歴史散歩

高札場 三月例会 東京二十三区を歩く(5) 墨田区向島界限

豊島氏関係資料を読み直す

豊島刑部少輔信満の刃傷事件とその背景(3)

葛城 明彦

伊藤 一美

◆八王子市郷土資料館だより

〒193-0832八王子市散田町2-37-1 (事務室) TEL042-629-9896 1977年創刊

<https://www.city.hachioji.lg.jp/kankobunka/003/005/p005312.html>

◇110 2023.3 A4 8p

《祝 国重要無形民俗文化財指定 八王子車人形 特集号》

表紙 「三番叟」を演じる八王子車人形西川古柳座五代目家元 西川

古柳氏 (撮影：鈴木竜馬氏)

(矢田)

国重要無形民俗文化財指定を受けて

『八王子車人形調査報告書』作成の全容について

『八王子車人形調査報告書』作成を通して

八王子車人形のあゆみ

館長に就任して

八王子車人形のしくみ

八王子車人形の首／ろくろ車(箱車)／八王子車人形の舞台

西川 古柳

大谷津早苗

服部 真理

山本 泉

叶 清

◆花時計 文京ふるさと歴史館友の会だより増刊号

〒113-0033文京区本郷4-9-29 TEL03-3818-7221

<https://www.city.bunkyo.lg.jp/rekishikan/>

◇31 2023.6 A4 2p

一葉あれこれ

中嶋 正文

幼少期の弓町・本郷元町

舟山 憲一

◆東日本部落解放研究所ニュース

〒111-0024台東区今戸2-8-5 TEL03-5603-1863 1986年創刊

<http://www.hblri.org>

◇104 2023.6 A4 6p

第38回総会を開催

報告 総会記念講演 コリアン・ジェノサイドとは何か―関東大震災

時朝鮮人虐殺の世界史的位罫 朝鮮大学校非常勤講師 前田朗さん

(事務局・鳥山)

速報 「全国部落調査」復刻出版事件 控訴審判決報告集会

◆文化財ニュース 千代田区立日比谷図書文化館

〒100-0012千代田区日比谷公園1-4 TEL03-3502-3348/03-3502-3361 2012年創刊

<http://edo-chiyoda.jp>

◇29 2023.3 A4 8p

特集 文化財を末永く後世に伝えるために

― I P M (総合的有害生物管理) の取り組み

岩城 晴美

地域の文化財保存活動―番町幼稚園の霜月虫干し会

Chiyoda コレクション 須恵器に書かれた文字を読み解く

山田 暁也

日比谷ミュージアムガイド 日比谷図書文化館常設展示室

“発掘されたくらしと環境” 見どころ

濱口 皓

◆文京ふるさと歴史館だより

〒113-0033文京区本郷4-9-29 TEL03-3818-7221

<https://www.city.bunkyo.lg.jp/rekishikan/>

◇30 2023.6 A4 8p

表紙 絵はがき「(新大東京名所)機上ヨリ見タル聖橋及ニコライ堂附近」

寺子屋、藩校、昌平黉―学び舎の歴史、江戸から東京へ

加藤 元信

収蔵庫と天気

齊藤 智美

卒業写真に写る人たち
令和4年度のあゆみ

加藤 芳典

◆民俗建築 日本民俗建築学会

〒162-0834新宿区北町18 TEL03-3260-3653 年9000円

<http://www.folkhouse.org>

◇163 2023.5 B5 64p

扉絵 旧阿部家 福島市民家園内(重要文化財)

道塚 元嘉

巻頭言 南サハリンにおける日本期建築調査回想

角 幸博

2022年度大会発表研究論文

石川県能登町中谷家住宅に見る明治8(1875)年建築の塗蔵床組につ

いて

平山育男／村田一也

朝鮮時代における教育施設の比較研究

朴 賛弼

単一風向型の採風塔の有効性に関する CFD 解析

出口 清孝

東京と神奈川の民家における柱内法制5.80尺について

菊地 憲夫

一般論文 エチオピアのムルシ族・ハマル族・カロ族の民家

佐藤 正彦

民俗建築アーカイブ(24) 小川徹氏が残してくれた桑水流集落の写真

アーカイブ委員会 河村明植・金澤雄記・上田忠司・古川修文

新刊紹介

藤原美樹著『小さくてよいもの 西村伊作の世界』

金谷 玲子

上甫木昭春他編著『神宿の隣の自然』

西尾 嘉美

文献紹介 単行本・報告書・論文

事務局

会報 大会 2023年度第50回大会／シンポジウム・見学会 第27回シ

ンポジウム・見学会／理事会／会務担当会議／研究会／学生論文奨

励基金の活用／学会誌大学図書館等の蔵書検索の変更

神奈川県

◆小田原史談 小田原史談会

〒250-0021小田原市早川160 青木良一方 TEL0465-22-8852

年3000円 1961年創刊 <http://odawara-shidan.hustle.ne.jp>

◇274 2023.7 A4 36p

講演録 異なる視点から小田原合戦

—各種史料の検討から見えてくるもの

講師・鳥居和郎

ある賭博師の一夜—お乞食さんたちの鉄火場

宮原 諄二

画家・井上三綱の芸術(4)

田代 勉

小田原史談会の新講座開催！「藪医者・竹斎の東下り道中記」

講師：阿部美知代(近世初期文学)

浄永寺に眠る日本画家・片岡球子

大井 みち

「片岡日記」を歩こう会 春の湯河原・真鶴行き

青木 良一

拓本集団「星の組」活動報告

大井 みち

「片岡日記・明治編」こぼれ話(3) 第一話 「今か出立ますらおを」

と「君死にたまふことなかれ」(松島俊樹)／第二話 佐奈田霊社と

磯笛(松島俊樹)／第三話 南紀・熊野への旅(宮原諄二) 片岡日記を読む会
スケッチ川柳 車中編 I 穴戸 忠夫

◆開国史研究 横須賀開国史研究会

〒238-8550横須賀市小川町11 横須賀市文化スポーツ観光部文化振興課内

TEL046-822-8116 年1000円 2001年創刊

◇23 2023.3 A5 163p 800円

口絵解説 弘化四年浦賀湊海岸島瞰図

齋藤 純

『開国史研究』発刊にあたり

山本 詔一

開国史研究会 総会記念講演

横須賀の発展と海軍—造船所とその時代

高村 聰史

開国史講演会 幕末社会—ペリー来港による社会変動

須田 努

開国史研究講座

日本を開国させた男、松平忠国

関 良基

日米和親条約における領事等駐在規程をめぐる考察—改訂増補

今津 浩一

デンマーク船ガラテア号の来航とその意義

山本 慧

『東福寺詣』を読む

山本詔一／和歌解釈・田辺康仁／資料翻刻・倉沢千恵

史料紹介 サラセン号浦賀来航の記録(4)

齋藤 純

研究会一年の活動

事務局

◆柿生文化 柿生郷土史料館情報・研究誌

〒215-0021川崎市麻生区上麻生6-40-1 TEL044-988-0004

<http://web-asao.jp/hp2/k-kyoudo/>

◇174 2022.11 A4 4p

臼井義胤翁を訪ねて(1) 義胤翁と臼井家

小林 基男

大地に刻まれた歴史探勝(11) 古代の火葬文化を実証する骨蔵器群

村田 文夫

シリーズ教育の歩み 第3部 日本の学校と教育(30)

小林 基男

区民記者の栞 ナウマンゾウに思うこと

仲原 照男

◆クロス 常民文化研究会

〒254-0016平塚市東八幡2-8-20 西海賢二 年1000円 1979年創刊

◇174 2023.8 B5 6p

続史料もて史料を、伝承もて伝承を

西海 賢二

自治体史編さん事業の現況と課題—ある自治体史丸投げの実態から

西海 賢二



＊後記に記した世田谷区史編纂問題のこともあり、西海氏の「自治体史編さん事業の現況と課題—ある自治体史丸投げの実態から」を興味深く読んだ。

同氏はこれまで50年にわたり、青森県八戸市から愛知県稲武町(現豊田市)まで27カ所もの自治体史等の編さんに関わってきた。そうした中で近年、出版社に丸投げをしたり、驚くほどの短期間で完成させる現実を経験しているという。それらには、執筆者名が明記されなかったり、引用文献の記載のないもの、わずかに掲げられた参考文献はタイトルのみで書誌記述は極めて不完全な上に、諸資料を整理もせずに写しとったケースもある。さらに、あろうことか、同氏の著作からの盗用もあったとのことである。このような自治体史もあれば、無論全国各地には、時間と予算をかけて、「地域に密着して地域のための自治体史」を編さんしている自治体史が多くあることはいうまでもない。

自治体史に関わるに当たって同氏は、「縁」と「きっかけ」を必ず持つことを自分に言い聞かせてきたとして、次の7点を上げる。1) 自分の出身地である 2) 父母をはじめとして親類縁者に関わりがあること 3) 大学・大学院などで通学した地区 4) 大学の学部時代からの研究テーマでお世話になった地域 5) 居を構えたことがある地域 6) 指導教員・教官らとの共同調査で関わった地域 7) 各地の文化財調査・指定に関わった地域。

そして、自治体史に関わる研究者の一人として、「責任ある地域に還元できる歴史的事実を紹介するように自戒をこめて関わっていききたいものである」と結んでいる。

◆市史通信 横浜市史編集室

〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中央図書館地下1階 TEL045-251-3260

2008年創刊 <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/gaiyo/shishioryo/>

◇47 2023.7 A4 12p

表紙 関東大震災で被災した元街小学校運動場(中区) 1923年

ある都市地主の経営——一九一六年

百瀬 敏夫

戦時下における女性の服装—『神奈川新聞』『生活欄』から

上田 由美

横浜市電停車場の考察

岡田 直

所蔵資料紹介 震災記念元街小学校復興誌資料

百瀬 敏夫

◆日本の石仏 日本石仏協会(発売:青娥書房)

〒254-0031平塚市天沼7-59-305 TEL0466-24-0203 年8000円

1977年創刊 <http://sekibutukyokai.jp>

◇180 2023.7 A5 64p 2000円

表紙 二十三夜尊 佐賀市道祖元(さやのもと)町 道祖神社 写真と文・森満也

巻頭随想 石仏を蹴ってはなぜいけないのか

福岡県広川町十三佛での事件で思うこと

川野 明正

特集 石仏探訪XIV

蚕玉十二神

下平 武

越ヶ谷宿・旧日光街道沿いの石仏を巡る

須藤 賢一

富山県常願寺川の大転石に宿る神仏

平井 一雄

福井県永平寺町松岡湯谷の庚申塔

伊東 英明

滋賀・岩屋善光堂の阿弥陀三尊石仏について(附・千手観音石仏)

山下 立

本邦石造物研究の歴史Ⅶ

1964年(昭和39年)から69年(昭和44年)まで

嘉津山 清

誌上講座

日本狛犬史から見た石造狛犬(1)

一 連載の辞 本講の視座・目的

山下 立

石仏入門(33)「日本石仏図典」補足・Ⅷ

門間 勇

会員の広場

みかん山の薬師如来(佐賀県藤津郡太良町)

中野 高通

渋沢栄一の書碑を拓本

嘉津山 清

紀年名の頭に“灘咎”がある庚申塔

伊東 英明

お地藏さんが語る野辺送りの記憶

藤井 伸幸

石仏談話室／石仏交流

第137回石仏見学会報告 横浜市港北区綱島・大倉山周辺の石仏巡り 門間 勇

日本石仏協会主催 バス石仏見学会報告 千葉県東総の石仏巡り 三代川千恵子

◆三浦一族研究 三浦一族研究会

〒238-8550横須賀市小川町11 横須賀市文化スポーツ観光部文化振興課内

TEL046-822-8116 年1000円 1997年創刊

https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/2120/culture_info/miura_ichizoku/

◇27 2023.3 A5 185p 800円

口 絵

相模国三浦郡大矢部村略絵図

谷合 伸介

西岡虎之助関連資料

高橋 秀樹

ごあいさつ

上地 克明

「三浦一族研究会」の新展開を願う

伊藤 一美

若狭国鎮守一二宮社務家と結ぶ三浦式部允家村の記憶

伊藤 一美

講演会

内乱期 三浦一族の選択

関 幸彦

三浦氏と北条政子・義時

山本みなみ

特別連載 豪族三浦氏の発展(下)

西岡虎之助・著／高橋秀樹・校訂

史跡巡り 第一回「まるごと新井城―遺物からみる新井城の姿」講師

：香川達郎氏、第二回「文献・考古・美術資料からみる永福寺」講

師：渡邊浩貴氏、第三回「春の浦賀道―田戸から中央へ」講師：仲

野正美氏

剣持輝久・編

学習講座

第一回「三浦一族を育てた古久里浜・衣笠の歴史」

中三川 昇

第二回「海上交通から発展した浦賀湊へ」

山本 詔一

吾妻鏡を読む会 治承4年に戻り、頼朝の旗揚げから再スタート

伯山 敦仁

会員コーナー 上総国における佐原流三浦氏の所領

アダチ・クリスティ

幹事のオススメ本・情報紹介コーナー

杉本苑子著『竹の御所鞠子』

森 敏晴

後深草院二条著 佐々木和歌子訳『とはずがたり』

堀本 潤

斎藤慎一著『中世武士の城』

山城ガールむつみ(宇野睦)

三浦一族関係文献目録(27)

伊藤一美・編

研究会一年の活動

事務局

◆民具マンスリー 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661 年3500円

1968年創刊 <http://jominken.kanagawa-u.ac.jp>

◇664 (56-4) 2023.7 A5 24p 350円

市民活動としての民具調査と聞き書き

―国立市民具調査団の活動を中心に

安齋 順子

「只見の仕事着文化継承～ユッコギワークショップ」にみる布にかか

わる文化の継承方法について

山口 拡

民具短信

尋ねろくろの記

小椋 裕樹

『伊予砥ものがたり』と砥部焼資料

宮本 直美

書籍案内(寄贈図録より) 『プラスチックのデザイン関係資料』松戸

市立博物館館蔵資料目録1 松戸市立博物館／特別展図録『氷見の

色―写真とモノから見る暮らしの色』氷見市立博物館

◇665 (56-5) 2023.8 A5 24p 350円

牛乳受箱小考―明治20～30年代

松本 友里

企画展「瓦工の道具―民具と写真から見る瓦づくり―」を終えて

西連寺 匠

民具短信 旧山陰葡萄酒合資会社醸造関係資料について

檜村 賢二

マンスリー掲示板 福島県立博物館 令和5年度夏の企画展「仕事が

仕事をしてる仕事―福島県のものづくりと民藝」

新潟県

◆高志路 新潟県民俗学会

〒950-0916新潟市中央区米山3-1-31-1101 金田文男方 ☎025-241-9402

1935年創刊 <https://fsnp.mints.ne.jp>

◇429 2023.8 A5 37p

魚野川の太公望・疱瘡流しなど

佐藤 和彦

山の神・十二講の弓矢について

金田 文男

ムラの成り立ち―ジュウ・ジョウ・ズという地名と組織から

小澤 弘道

百和堂(片桐民治)と小林存

―「小林存訪問録」より、昭和二十三年四月・五月・六月の記録

岩野 笙子

村松が生んだ木彫作家 山内倉蔵―東京美術学校時代を中心に

増井 直子

質問 三吉神社について

金田 文男

表紙写真 和納十五夜まつり

金田 文男

◆新潟市文書館だより

〒950-3313新潟市北区太田862-1 ☎025-278-3260 2023年創刊

<https://www.city.niigata.lg.jp/kanko/bunka/rekishi/niigatasibunshokan/>

◇1 2023.1 A4 4p

「文書館だより」の創刊にあたって／文書館のご紹介

所蔵資料紹介 「新潟市上水道敷設関係資料」

文書館ってどなところ？なにができるの？／おうちで文書館の資料
を見てみよう。

令和3年度企画展から一文書館所蔵資料から見る水とのたたかい

松ヶ崎堀割～現在の阿賀野川流路の形成／内野新堀～近世の大工事、
川の立体交差／関屋分水路～「新潟島」の誕生

◆まきの木 巻郷土資料館友の会

〒953-0041新潟市西蒲区巻甲3069-1 TEL025-672-6757 年1500円 1978年創刊

◇117 2023.6 B5 18p

長岡藩の「慶安検地帳」の一筆の面積の特徴

亀井 功

「故石山与五栄門展鑑賞」

江幡 完治

史料紹介 「排水彰功之碑」の紹介とその歴史的意義

亀井 功

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文化博物館新潟分館内

TEL025-222-2262 1978年創刊

◇181 2023.7 A4 20p

「桂家よりの贈物」岩田正巳・画（出雲崎町・良寛記念館蔵）

いわた・まさみ（明治26～昭和63年）

リレーエッセイ 良寛つれづれ(30)

貞心尼の思いから探る良寛の魅力

金垣 孝二

良寛遺墨鑑賞(29) 「戒語」じまんばなし

小島 正芳

各地良寛会だより(21) 野積良寛研究所の巻

本間 明

広がる談笑、通い合う心 33年ぶり東京大会開催 全国良寛会／小島

正芳会長あいさつ

第46回全国良寛会柳津大会 令和6年6月15日、16日に開催

土橋 諭

良寛さんと須磨寺(3)

器楽堂ゆう子

私の好きな良寛さん

玉島のあこがれの人

森石 武士

良寛さんに学んで

阿部 紀夫

大森子陽が師事した細井平洲と良寛(中)

齋藤 達也

相馬御風の良寛(30)ー北大路魯山人との交流、良寛の書をめぐって

金子善八郎

『漱石と良寛』の著者との出会い	岡田 守
若き良寛修行の地をゆく一備中玉島・円通寺(中)	原 崇
良寛 鉢の子の詩歌	吉田 福恵
「良寛書を国宝に」	加藤 惇一
全国良寛会総会を開催 「会務報告・予算書」などの4議案を承認	
『栗山ノート』と良寛さん	坂井 幸子
トピックス	
新刊紹介 「異形の良寛一渴きと訪れ」武藤雅治著 花伝社刊 共栄	
書房発売	柳本 雄司
会報紹介 鉢の子たより第36号(東京良寛会)、苔水7号(静岡県良寛会)、上州良寛第55号(上州良寛会)、しばた良寛会だより第34号(新発田良寛会)、良寛さま第15号(良寛クラブ南魚沼)、轉萬理第90号(新潟良寛研究会)、にいがた良寛第78号(にいがた良寛会)、富山良寛会々報第34号(富山良寛会)、岡山県良寛会会報第109号(岡山県良寛会)、田中の松第23号(岩室良寛会)	吉井 清一
良寛を訪ねて(30) 庇護者阿部家(燕市渡部)(上)	

富 山 県

◆富山史壇 越中史談会

〒930-0115富山市茶屋町33-2 富山県公文書館内 TEL076-434-4050

1954年創刊 <https://shidankai.web.fc2.com>

◇201 2023.7 A5 82p 1300円

公式令集解朝集使条にみる神濟一法的解釈をめぐる視座	木本 秀樹
生き残った源義仲の縁者一宮菊、金刺盛澄	辻 崇宏
語句「立山黒部」の誕生と普及に係る考察	松島 吉信
氷見市白ヶ峰の砦跡とその性格	高岡 徹
書評 富山城研究会著『石垣から読み解く富山城』	田上 和彦
特別講演会要旨 承久の乱における北陸合戦	長村 祥知
最近の地方史情報	高森 邦男

石 川 県

◆石川れきはく 石川県立歴史博物館

〒920-0963金沢市出羽町3-1 TEL076-262-3236 1986年創刊

<http://ishikawa-rekihaku.jp>

◇142 2023.4 A4 8p

表紙：国宝 銅鐸 島根県加茂岩倉遺跡 国(文化庁保管)・島根県立

古代出雲歴史博物館写真提供

令和5年度春季特別展「碧の海道—古代の日本海交流—」／関連イベント

資料紹介 海を渡った碧い玉

三浦 俊明

学芸員コラム 「スナックのママ」の銅像

現在の瀧の白糸像

大門 哲

研究ノート 能登名跡図巻の世界

中村真菜美

◆加能民俗 加能民俗の会

〒920-0963金沢市出羽町3-1 石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236

年4000円 1950年創刊

◇166 2023.3 A5 17p

『城下町金沢の都市民俗問題を考える—ゴミの処理』

小林 忠雄

金沢の怪異談

真山 武志

三文豪が記した金沢の冬の暮らし

東條さやか

書評 由谷裕哉編『能登の宗教・民俗の生成』

大門 哲

新刊紹介 『石川ふるさと』（北國新聞社）

由谷 裕哉

会務報告 一、総会・研究例会 総会／二、共済会 第四五北陸三県

民俗の会年会／三、石川県連合研究発表会

◆加能民俗研究 加能民俗の会

〒920-0963金沢市出羽町3-1 石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236

年4000円 1972年創刊

◇54 2023.3 A5 68p

天野武さんを悼む

小林 忠雄

西山郷史さんを悼む

小林 忠雄

奇書『梶井家鶴祭之由来記』を読む—鶴祭は鶴飼と関係があるのか

干場 辰夫

取り巻かれる死霊—加賀門徒の幽霊騒動と幽霊画

大門 哲

加賀万歳の演目の多様性について

東條さやか

宝達山麓(旧押水町域)における神社合祀・研究序説

由谷 裕哉

◆かほく市史編さんだより かほく市史編さん室

〒929-1215かほく市高松ク42-1 かほく市高松産業文化センター 3階

TEL076-281-3455 2022年創刊 <https://www.city.kahoku.lg.jp>

◇2 2023.2 A4 4p

「花嫁のれん」は「覚悟ののれん」 表紙：婚礼道具「花嫁のれん」
第3回編集専門委員会を開催しました／これまでの調査から 現代部

会、寺社部会、近世部会

特集 「民俗」調査について

かほく市の民間伝承断片

小林 忠雄

民俗学の調査方法とおねがい

コラム かほく市の歴史お宝

かほく市指定民俗文化財「内日角荷方節」

◇3 2023.6 A4 4p

「諏訪八幡神社社叢」

表紙：かほく市指定文化財 諏訪八幡神社社叢(多田区)

かほく市史編集専門委員会 寺社部会長 ごあいさつ

木越 祐馨

かほく市の寺院の特徴(木越寺社部会長の談話)／寺院調査開始

古文書を後世に残していきましょう！／古い写真(昭和40年代以前)を

探しています／調査にご協力をお願いします

コラム かほく市の歴史お宝 「鎮火祭」高松額神社

福 井 県

◆お天守だより 丸岡観光ボランティアガイド広報誌

◇7 2023.8 A4 2p

丸岡藩創立四百年に期待

大霜 徹夫

丸岡城ガイド・こぼれ話(7) 一筆啓上碑、どこにありますか？

水野 信好

◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会

〒918-8113福井市下馬町51-11 福井県立図書館内 TEL0776-33-8860

年3500円 1956年創刊

◇316 (68-1) 2023.7 B5 82p

天保～嘉永期の福井藩財政改革について

本川 幹男

大滝神社社殿と柏原八幡宮社殿一社殿の類似性と独創性

国京 克巳

「南越雑話」(10)一翻刻と現代語訳

「南越雑話」輪読会

豊田亀吉と小弥太がのこしたものの一豊田大門家資料紹介

三井 紀生

福井県における郷土研究・郷土誌の動向一令和四年度分

本会事務局／福井県立図書館郷土資料グループ編

◆文書館ふくい 福井県文書館

〒918-8113福井市下馬町51-11 TEL0776-33-8890

◇148 2022.12 A4 2p

展示・トークイベント／おしらせ 小浜市文化交流館・あわら市郷土
歴史資料館の2機関と連携して「デジタルアーカイブ福井」で新た
に資料の公開を開始しました!、「研究紀要」「資料叢書」準備中、
令和5年2月で開館20周年
ちょっと昔の風景 12月・1月

山 梨 県

◆地域と社会 佐藤弘

〒402-0005都留市四日市場902-3 2017年創刊

◇13 2023.6 B5 28p

駒場発電所落水路橋と中原岩三郎について
明治期の津久井織物業

知念浩生／森屋雅幸
佐藤 弘

長 野 県

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803飯田市鼎下山538 TEL0265-53-4670

<https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/>

◇125 2023.8 A4 4p

第20回飯田市地域史研究集会 飯田下伊那の学制と地域社会―「人づ
くり」から「ひとなる」へ

新スタッフ紹介 岩田会津研究員 1993年生まれ 専門：建築史、都
市史／伊藤悠研究員 1995年生まれ 専門：日本経済史
リレーミニエッセイ(31)―歴研20年を振り返る

歴史研究所の思い出 新海 愛
地域史講座 山里 南信濃のあゆみとくらし 講師：前澤健（特任研
究所）、太田仙一（調査研究員）、田中雅孝（調査研究員）

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒399-4117駒ヶ根市赤穂11193-7 吉田保晴方 年6000円

◇798 (67-7) 2023.7 A5 40p 600円

《景観特集》

伊那市高遠町の都市計画事業―無電柱化工事の完成	山崎 大行
上牧里山づくり―地域ボランティアによる	唐木 隆夫
三風の会―伊那谷の風景を守るプロジェクト	氏原 睦子
伊那谷の美しいシークエンスの分野を超えた保全	
―三風デザインの実践と課題	上原 三知
風景プロジェクトへの取り組み	畑 美樹
風景(景観)の見方と伊那西地区における景観形成に向けて	渡部 洋一
上伊那地域の景観形成の取り組みの現状と若干の考察	山口 通之
図説・上伊那の民俗(71) 縁切石(飯島町本郷四)	三石 稔
徒然さんば(48) 横川の蛇石 辰野町	絵と文・吉田勝美
◇799 (67-8) 2023.8 A5 48p 600円	

《終戦特集》

満蒙開拓とは何だったのか―田畑徳治郎さんの体験から考える	矢澤 静二
満洲建設勤労奉仕隊の動き	福澤 浩之
辰野町北大出にも来た農耕勤務隊	酒井裕美子
絵本『の一このおはなし』―戦争と大地震の記憶	木部 則子
飯田千代の分村に協力した祖父伊藤文雄	伊藤 一幸
中央アルプス地名考(13) 乗越浄土	吉田 保晴
図説・上伊那の民俗(72)	
津島神社祇園祭り(宮田村町1区から町3区)	三石 稔
徒然さんば(49) ワサビ田復活 南箕輪村	絵と文・吉田勝美

◆伊那民俗 柳田国男記念伊那民俗学研究所

〒395-0034飯田市追手町2-655 飯田市美術博物館内 Tel0265-22-8118

年3000円 1990年創刊 <https://inaminkenhome.blogspot.com>

◇133 2023.6 B5 8p

米を洗う女性／喬木村伊久間の上井戸	今井 啓
なぜ、祭りを続けなければならないのか―故郷の御柱祭(長野県上伊	
那郡辰野町「横川御柱祭」)に参加して	飯澤 文夫
報告 2023年度総会・講演・研究発表 2023年度総会／記念講演会	
伊藤好英氏「折口信夫・池田彌三郎と信・遠・三山間地域の研究」	
／研究発表 24名	米山 梓
報告 3・4月通常例会発表要旨 3月例会(3月26日、8名参加) 今井	
啓「民俗を“描く”ことで覚えてきたもの」、4月例会(4月22日、6	
名参加) 松上清志「高森町に残る柴刈りの木―カッチキ」	今井 啓
研究所の一般社団法人化に向けて	松上 清志

◆信濃 信濃史学会

〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 TEL0263-58-1213

<http://www.shinano-shigakukai.jp>

◇881 (75-6) 2023.6 A5 80p 1150円

松本藩水野家・戸田家の時代の追鳥狩

一藩の規式・家中への覚・村の人足帳・町

上條 泰子

山札から見る入会と「領有」—信濃と出雲の比較を通して

斎藤 一

木綿鑑札制度成立の構造—文政期の松代藩領機構の評議過程を中心に

藤原 正克

書評 小田原近世史研究会編『近世地域史研究の模索—「つながり」の
の視点から』

前澤 健

受贈図書紹介 『災害・復興と資料』第11号、講座日本民俗学3『行
事と祭礼』、『古文書が語る信州秋山郷の原風景—文政八年の「秋山
様子書上帳」を読む』、ミュージアムABCシリーズ『ビジュアル
博物館学 ベーシック』、総合文芸誌『安曇野文芸』46・47号／雑
誌関係要目

◇882 (75-7) 2023.7 A5 98p 1150円

《隣県特集号 隣県地方史学界の動向—令和4年(2022年)》

新潟県地方史研究の動向 石原正敏／浅井勝利／田嶋悠佑／渡部浩二／荒川将

群馬県地方史研究の動向 丑木 幸男

愛知県地方史研究の動向 日吉康浩／神谷智／石田泰弘／上田早織／山下廉太郎

岐阜県地方史研究の動向 村瀬泰啓／堀祥岳

埼玉県地方史研究の動向 堀口智彦／根ヶ山泰史／大橋毅頭

富山県地方史研究の動向 鹿島昌也／松山充宏／尾島志保／森 俊

山梨県地方史研究の動向 上野桜／西川広平／高橋修

長野県地方史研究の動向 櫻井秀雄／福島正樹／市川包雄／田玉徳明／田澤直人

雑誌関係要目

◇883 (75-8) 2023.8 A5 80p 1150円

村上義清最晩年の花押と法名—村上入道無徹書状の紹介

村石 正行

「御樽木成の由緒」の形成—石代への意識に視点を当てて

前澤 健

石清水八幡の別当栗林元命について考える

石川 勝義

追悼文 久保田諫さんを悼む

—「河野村開拓団の最期」を語り続けた語り部

本島 和人

総会報告 2023(令和5)年度定期総会報告

事業委員会(速渡賀大)

長野県郷土雑誌関係要目／雑誌関係要目

◆千 曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会

〒386-0024上田市大手2-7-13 上小教育会館内 TEL0268-24-2182

年3000円 1974年創刊

◇179 2023.6 A5 62p

扉写真と解説 与良町郷蔵(小諸市与良町)

市川 包雄

信濃における末端官衙(2)―鑄物師屋遺跡(小諸市分)の再検討

(小諸市関口A遺跡にもふれて)

鳥羽 英継

千曲川に臨む小牧城

尾見 智志

上田領に蚕種商人に課せられた嘉永元年発起無尽

笠原 知子

郷土史随想 明治後期の我家の暮らし

関 智栄子

連載講座 古文書解説講座 第170回

倉畠 勝夫

地区だより(坂城地区)

柳澤 哲

創立五十周年記念総会報告

文責・事務局

◆長野県民俗の会通信

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円

<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇296 2023.7 B5 8p

安山岩で造られた十王

三石 稔

松本の鳥居火再考(1)

小原 稔

第二三五回例会参加記 安曇野市豊科郷土博物館・豊科公民館

田澤 直人

葉書でつぶやくコーナー 覚えていることは一透析室春秋2

倉石 忠彦

岐 阜 県

◆岐阜市歴史博物館だより

岐阜市歴史博物館 〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園内 TEL058-265-0010／加藤栄三・東一記念美術館 〒500-8003岐阜市大宮町1-46 TEL058-264-6410 1985年創刊

◇114 2023.7 A4 8p

重要文化財 鶺鴒図屏風 右隻(部分)

狩野探幽 江戸時代前期 大倉集古館蔵

企画展「鶺鴒一篝火がおりなす伝統漁」

加藤栄三・東一記念美術館「加藤栄三・東一 鶺鴒を描く」

加藤栄三・東一記念美術館「岐阜新文化展 Return」
歴博セクション「美しき岐阜提灯の世界」
令和4年度受贈資料

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会

〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館内 TEL058-275-5111 年2800円
1973年創刊 <https://www.library.pref.gifu.lg.jp/library-information/related-organizations/kyoshiken/>

◇140 2023.7 B5 40p

《創立50周年記念特別号》

祝辞 創立五十周年に寄せて
創立五十周年を迎えて
歴史は人が編るもの
創立五十周年を迎えて
郷土研究岐阜五十年を振り返る

竜橋 智基
早川 万年
黒田 隆志
杉下 尚
丸山幸太郎

郷土研究・岐阜 No1～No139 発行順総目次

郷土研究・岐阜 No1～No139 分類順総目次

郷土研究・岐阜 No1～No139 執筆者一覧

復刻資料一覧／講演会講師・演題一覧

◇記念論集 2023.7 B5 273p

《創立50周年記念論集》

はじめに

早川 万年

特別寄稿 岐阜県郷土資料研究協議会の設立

丸山幸太郎

水田開発と遺跡—関市の遺跡から

田中 弘志

遺物と輪中の分布・年代からみた養老町域の形成過程

中島 和哉

墳丘盛土の攪拌土層について—坂祝町梅替古墳の事例から

成瀬 正勝

美濃における古代集落の動態に関する予察

島田 崇正

飛驒国の立国に関する予察

北村 安裕

「語部は美濃に八人」考

早川 万年

石材調査から見た金森氏前後の飛驒の城

岩田 修

織部茶会記に見る客層の変化

丸山幸太郎

土岐頼益の守護職就任と応永の乱

佐伯 浩

斎藤道三と本願寺・美濃本願寺門徒

古田 憲司

西美濃四人衆 不破河内守光治の生涯の考察

児玉 剛

軍記物語と青墓—読みのイメージを通して

新田 慶命

飛驒の藤橋と籠渡—近世飛驒の名所と詩歌

福井 重治

田中大秀と中古散文の目録	小川 陽子
白山信仰の歴史—美濃馬場を中心に	曾我 孝司
大垣藩の軍制改革	清水 進
明治期岐阜県吏員の井出今滋に関する研究(1)	
一岐阜県庁草創期における人事問題を中心にして	蓑島 一美
旧厚見郡下佐波村の御札祭り—「ええじゃないか」史料の再検討	岡田 吉孝
林魁一の歴史研究と史蹟保存への姿勢—大正から昭和初期を中心に	可児 光生
飛騨市稲葉遺跡の旧石器時代資料	三好 清超
考古・「カニ」の昔ばなし	長瀬 治義
製鉄伝承が物語る古代美濃国の歴史的役割	今津 隆弘
岐阜市歴史博物館所蔵「土岐頼武書状」の再検討	
一『斎藤道三と義龍・龍興—戦国美濃の下剋上』の解釈をめぐる	宮野 宣康
高山藩の地方支配に関する研究補遺	堀 祥岳
戊辰戦争における大垣藩の動向—城代小原鉄心を中心に	成田 信一
岐阜繊維問屋町事業者と戦後引揚者の人的系譜—三つの名簿から	根岸 秀行
郷土教育と新課程「地理総合」と実践	木村 稔
高山市安国寺の宝篋印塔	小野木 学
「高野山常慶院遠山家過去帳写」について(1)	三宅 唯美
大垣の酒造	横幕 孜
三月七日付尊大人宛原三溪書簡—原三溪の結婚への思い	入江 康太
「岐笠運河開墾工事事業計画書」について	水谷 英志
安田老山の事跡について	
一青山霊園所在「安田老山翁之墓表」を中心に	村田 隆志
創立五十年記念事業特別委員	



* 1973年9月に市原三三氏を会長に創立された岐阜県郷土資料研究協議会が50周

年を迎え、会報『郷土研究岐阜』が第140号を「創立50周年記念特別号」としたほか、別途、B5判273pの大部な『創立50周年記念論集』を刊行した。

同会設立の経緯は、『創立50周年記念論集』で丸山幸太郎氏が、設立に奔走した故村瀬田良氏(県立図書館資料課長)の創立当時の日記を引用するなどして詳細に記している。それまで県内には、岐阜史学会、岐阜地理学会、美濃民俗の会、岐阜県文化財保護協会などの郷土研究関連団体が存在していたが、1963年に岐阜県史編纂事業が始まったことで、県内各市町村にその動きが広まり、郷土史資料の整理や保存、それに対応のできる人材育成の必要性に迫られる事態になっていた。こうした状況を背景に、大学、学会、行政、研究団体の協力のもとで協議会は誕生し、郷土に関する資料の調査研究と紹介、郷土に関する資料の収集・保存への助言協力、郷土文献の出版、各種郷土研究団体等との情報交換・連絡、研究会・講演会など活動を行ってきた。

会報は会設立に先立って、同年8月に創刊され、毎号、論考と共に、資料紹介、郷土研究団体の消息、「郷土関係新刊書目録」、「郷土関係逐次刊行物目録」、「国立国会図書館雑誌記事索引」などを掲載し、情報性の高いものになっている。第140号には、創刊号から第139号(2023.3)までの発行順と分類順の総目録、執筆者一覧を掲載する。また、1974年の安田益二『戸長名鑑』をはじめ、ほぼ毎年行なっている郷土資料の復刻一覧と、講演会講師・演題一覧を掲載している。

静岡県

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8526静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学国際関係学部 森山優研究室
年4000円 <https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com>

◇538 2023.7 A4 4p

7月例会レジュメ 富士宮市編さん事業の現状報告—近現代を中心に

橋本 誠一

県の生活綴方教育弾圧事件

—今夏の「平和のための富士戦争展」に向けての調査から

加藤 善夫

◇539 2023.8 A4 4p

資料紹介 戸長研究会規則—鷲山恭彦家文書調査日より

橋本 誠一

一本喜徳郎の名字の読みは「いっき」か「いちき」か

清水 実

『占領下の女性たち—日本と満洲の性暴力・性売買・「親密な交際」』

(岩波書店) 出版

平井 和子

◆静岡県地域史研究会報

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

◇249 2023.7 B5 4p

名前(ことば)へのこだわり

太向 義明

4月例会報告要旨

戦国期の駿河伊達氏・伊達忠宗に関する考察

千葉 宏太

5月例会報告要旨

(史料再考)明治三(一八七〇)年菊間藩権現堂村「村法・民法」

一三河での服部純への考察を加えて

横山 鈴子

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区洪川1-9-35 <http://web.thn.jp/s-folklore/>

◇188 2023.8 A4 10p

新盆の精霊棚にかける梯子

松田香代子

令和5年度 静岡県民俗学会 総会・大会報告

静岡の民俗語彙・方言短信 チンブリカエル／チョンチョングワ

報告者・川口円子

◆静岡歴研会報 静岡県歴史研究会

〒422-8045静岡市駿河区西島363-55 篠原旭方 TEL054-286-8659

◇164 2023.8 B5 12p

第134回研究会 堀川幸美氏「神々と天皇・豪族との間」のテーマ選
定と発表内容／篠原旭氏の「静岡の生みの親、阿倍の市」のテーマ
選定と発表内容

第135回研究会 福島隆氏「(奈良時代)道教の即位を阻止した八幡大
神とは一古代八幡信仰と呪術・祈禱・託宣の時代」／篠原旭氏の「駿
府御用水、駿府用水、本丸泉水路について」

令和5年度総会

愛 知 県

◆愛城研報告 愛知中世城郭研究会

〒445-0072西尾市徳次町地蔵44-3 石川浩治方 TEL0563-65-9070 1994年創刊

◇26 2023.8 B5 144p 2000円

名古屋市南区・笠寺台地の城館(2)

安藤 義弘

下総生実城址について～遺構を歩く

池田 光雄

豊川市御油城とその周辺の城一隠沃城と関口城	石川 弘治
幸田町深溝城の変遷試論	奥田 敏春
修復願絵図からみる西尾城の石垣一大給松平氏の時期を中心に	柴田 富彦
アビラ・ヒロン『日本王国記』における関ヶ原の戦いの記載について	白峰 旬
鎌田城の再検討	関口 和也
資料紹介 釜山倭城をめぐる新出資料	堀口 健次
篠目城再々考	山崎 裕太
愛知県関係城館論文目録補遺(3)	石川 弘治

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1 TEL052-671-4151

<https://www.atsutajingu.or.jp>

◇279 2023.7 A5 41p

剣の宝庫 草薙館周辺の林苑整備の考え方(1)	原野 幹義
熱田社「惣検校馬場家(権宮司家)」屋敷所在地について	細谷 公大
熱田神宮御礼遇に関する一考察(4)	飛岡 秀樹
熱田神宮スカウト活動六〇周年に寄せて	南部 将也

◆岩崎城だより 岩崎城歴史記念館

〒470-0131日進市岩崎町市場67 TEL0561-73-8825

<https://www.mf.ccnw.ne.jp/iwassakijo/>

◇60 2023.4 A4 4p

表紙 小彼岸桜／甲冑着用体験
館長のおはなし
岩崎城にまつわる民話 城山から火の玉

◆岩瀬文庫だより 西尾市岩瀬文庫

〒445-0847西尾市亀沢町480 TEL0563-56-2459 2004年創刊

<https://iwasebunko.jp>

◇77 2023.6 A4 4p

市制70周年・岩瀬文庫リニューアル20周年記念特別展「家康を支えた
武将 松井忠次」／次回予告 岩瀬文庫リニューアル20周年記念企
画展「岩瀬文庫を振り返る 序」
国登録有形文化財 旧書庫・おもちゃ館保存活用へのあゆみ／夏休み
塩田体験 参加募集一昔ながらの塩田をつくろう

資料紹介 「松井忠次肖像」表紙の写真 法応寺旧蔵／西尾市教育委員会蔵 江戸時代前期
一色学びの館企画展「吉良御鷹場一家康も訪れた鷹狩の聖地」／西尾市資料館企画展「発掘された！中世西尾の城館跡」

◆華山会報

〒441-3421田原市田原町巴江12-1 TEL0531-22-1700

◇50 2023.4 A4 16p

華山と京博

福士 雄也

『全楽堂記伝』(9)ー華山伝記の根底テキスト

別所 興一

渡辺華山とプラグマティズム

大崎 洋

『四州真景の旅』(12) 游総図着色

中神 昌秀

「第11回華山会学童書道展」入賞作品のお知らせ

公園財団法人華山会

令和4年度華山・史学研究会研修視察 三重県松阪市を訪ねて

鈴木 利昌

◆刈谷市歴史博物館NEWS

〒448-0838刈谷市逢妻町4-25-1 TEL0566-63-6100 2019年創刊

<https://www.city.kariya.lj.jp/rekihaku/>

◇13 2023.7 A4 4p

次回展示 企画展「井ヶ谷古窯展ーいにしへの刈谷のものづくり」

解説 最近の古窯に関する調査

河野あすか

報告 愛知教育大学附属高等学校「おかしな偉人伝」

長澤 慎二

報告 刈谷東高等学校折り紙部「ORIGASMI 展」

河村 智美

◆さんえん 三遠地方民俗と歴史研究会

〒441-2301北設楽郡設楽町田口字田養2-3 TEL0536-62-0820

◇82 2023.4 A4 8p

徳川四天王筆頭 酒井忠次と三河吉田城

水上 一文

熊谷氏と高力氏の家系

二村 順二

すつとび訪城記(45) 伏見城の移築建造物を訪ねて(1)

中野 豊光

「於くのほそ道」芭蕉自筆と柏木素龍清書の比較

渡辺 賢治

多米戸田氏と大垣藩

夏目 修二

◆新美南吉記念館だより

〒475-0966半田市岩滑西町1-10-1 TEL0569-26-4888 <http://www.nankichi.gr.jp>

◇221 2023.6 A4 4p

新美南吉没後80年「貝殻忌」

富安陽子×山本悦子「わたしの創作の“泉”」

童話「牛をつないだ椿の木」に登場する「井戸新」ゆかりの品と石碑
を寄贈

半田市の水、南吉と重ねて／日誌抄／記念館からのお知らせ

◆蓬 左 名古屋市蓬左文庫

〒461-0023名古屋市東区徳川町1001 TEL052-935-2173 1980年創刊

<http://housa.city.nagoya.jp>

◇105 2023.6 A4 8p

表紙 長久手之図

『銅人経』拓本を探る!?(1) 蓬左文庫蔵『銅人腧穴鍼灸図経』拓本

の研究をはじめるにあたって

井上 充幸

のぞいてみよう、名工のお仕事(1)

「伊藤満作家資料」とは

米澤 貴紀

俳諧懷紙と千鳥塚(前)

井上 善博

表紙 図-604 長久手之図(ながくてのず)

1枚 江戸時代 165.4cm×162.0cm

加藤 千沙

◆まつり通信 まつり同好会

〒458-0006名古屋市緑区細口3-161 田中青樹方 TEL052-877-3497 年5000円

1961年創刊 <http://www.wa.commufa.jp/matsuri/>

◇626 (63-4) 2023.7 A4 8p 600円

表紙写真の言葉 ほうか 愛知県新城市名号 8月14日・15日

須藤 功

精霊送り

須藤 功

南西諸島の輪踊り(サークルダンシング)7ー沖縄本島(4)

シヌグ・ウンジャミーのユークイ儀礼(4)

坂本 要

東京・下郷の獅子舞II

石川 博司

学会・研究会情報／民俗芸能情報／展覧会情報／受贈資料紹介(588)

◆歴史文化館だより 犬山城白帝文庫歴史文化館

〒484-0082犬山市北古券8 城とまちミュージアム内 TEL0568-62-4700

◇20 2023.3 A4 6p

表紙 犬山之春(部分) 昭和6・7年頃 吉田初三郎筆

特別展「城主のお道具一由緒と伝来」／所蔵品の修復／犬山城・上廣

歴史文化フォーラム「尾張の戦国時代」 本郷和人氏／古文書講座

／古文書解説クイズ Part19

資料紹介 犬山之春 蘇川之秋 吉田初三郎筆／吉田初三郎来犬100

周年記念企画展「犬山名所案内―初三郎と観光」

◆れきしみち 安城市歴史博物館

〒446-0026安城市安城町城堀30 TEL0566-77-6655 1991年創刊

<https://www.ansyobunka.jp>

◇128 2023.4 A4 8p

企画展「安城の今昔4 はかり―暮らしのなかのはかる道具」 文責・西島康介
大河ドラマ「どうする家康」にむけて

安城譜代調査速報―酒井雅楽頭家

文責・三島一信

城址公園 万葉花ごよみ その四―馬酔木

安城歴史散策 風を感じて歴史を歩く(14)―安城西部小学校区(1)

文責・片岡 晃

第12回松平シンポジウム 門徒久敷断絶す―三河一向一揆後の三河本

願寺教団と家康・秀吉

三 重 県

◆皇學館史学 皇學館大学史学会

〒516-8555伊勢市神田久志本町1704 皇學館大学文学部国史学科研究室

TEL0596-22-6456 1986年創刊 <https://www.kogakkan-u.ac.jp>

◇38 2023.3 A5 141p

文永博多湾岸合戦考

多田 實道

蓮如と白山―文明六年一向一揆を中心に

新谷 竜希

『鎌倉大日記』正嘉元年条について

田宮 佑至

講演 朝鮮王朝と薬用植物

辻 大和

「日露戦争画帖」―一個人が描いた同時代の日露戦争史

長谷川 怜

香川志保子 欧州巡行日記(2)

―明治二十年四月一日より同五月二十二日

梅田 優歩

彙報 皇學館大學史學會令和四年度活動報告

◆まつさか歴史文化かわら版 松阪歴史文化舎

〒515-0082松阪市魚町1653 TEL0598-21-8600 <https://matsusaka-rekibun.com>

◇17 2023.4 A4 4p

表紙：神功皇后 久保田米僊画（長谷川治郎兵衛旧蔵）

今回の展示のみどころ！ 旧長谷川治郎兵衛家「長谷川家の暮らしを
語る道具展」／旧小津清左衛門家「紀州徳川家と松阪商人」／原田二
郎旧宅「松坂城の軌跡」

江戸ほんわか見てある記(2) 大伝馬町いまむかし

(中戸)

滋 賀 県

◆大津歴博だより 大津市歴史博物館

〒520-0037大津市御陵町2-2 TEL077-521-2100 1990年創刊

<https://www.rekihaku.otsu.shiga.jp>

◇129 2023.1 A4 6p

大津市歴史博物館・総合地球環境学研究所共催展「湖都大津の災害史」

高橋 大樹

ミニ企画展「大津の小学校150年」

福庭万里子

収蔵品紹介 毛利秀包感状／大津絵蔵書票 山内神斧画

五十嵐正也

◆戦国史と人 女風林火山 戦国史と人を学ぶ会／武田勝頼・松姫探究会

〒520-0528大津市和辻高城289-11 首藤義之方 年1400円 1987年創刊

◇71 2023.7 B5 80p

《特集 家康の母於大の方は近江出身》

徳川家康の母於大の方は、佐々木箕作義賢(承禎)の重臣青木正信の娘

説

首藤義之／福住明子

◆天下布武 織田信長家臣団研究会

〒520-0026大津市桜野町2-7-8 ステーションコーポ西大津204 井口友治方

TEL077-527-1722 年2000円 <http://member.nifty.ne.jp/ODANOBUNAGA/>

◇38 2023.4 B5 23p

表紙 甚目寺光明寺本 織田信長画像

信長の「兵法」

木下 博之

近江高島・幡岳寺過去帳

吉原 実

近江高島・幡岳禅寺に伝わる佐久間安政像

吉原 実

十六代親王将軍 所司細川六郎 所司代村井貞勝

〈義昭後の信長の幕府構想〉

井口 友治

清洲「談合」による家康の東国出勢〈清洲「談合」の家康誓書とは〉

井口 友治

細川六郎 その後

井口 友治

京 都 府

◆芸能史研究 芸能史研究会

〒602-0855京都市上京区河原町荒神口下ル上生洲町221 キトウビル303 TEL075-251-2371 年6000円 1963年創刊 <http://www.5b.biglobe.ne.jp/~geinoshi/>

◇241 2023.4 B5 40p 1800円

特集 家元制度研究の今日的課題

家元制度と芸能史研究者の立ち位置 熊倉 功夫

茶道家元制度の近世と近代 神津 朝夫

現代史としての家元制度

一熊倉功氏講演「家元制度研究から見えてくるもの」によせて 村上 紀夫

書評 稲田秀雄著『狂言作品研究序説 形成・構想・演出』 永井 猛

紹介

高橋悠介編『宗教芸能としての能楽』 (Y T)

『年刊藝能』第二十八号(通巻四四五号) (三竿)

福島和夫・上野学園大学日本音楽史研究所編『歴史学としての日本

音楽史研究』 (水禾)

例会発表要旨

私と芸能史—民俗芸能と芸能史の間で 2023年1月例会 山路 興造

山田雅楽器のその後—遺された雅楽管楽器の製作用具

2023年2月例会 福持 昌之

◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内

TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊 <https://www.shibikai1930.com>

◇935 (93-5) 2023.6 A5 28p 918円

五輪塔の起源と卒塔婆の変遷について(下) 木下 浩良

赤膚焼恵山銘花器をめぐって(4) 村上 泰昭

第1104回例会 明石を巡る 八田 洋子

◇936 (93-6) 2023.7 A5 32p 918円

山口県下の注目すべき狛犬二題

一瓦造狛犬の古例と西限の笏谷石製狛犬 山下 立

九州の石塔調査報告 11. 相良寺角宝塔々身(上) 佐藤 誠

第1105回例会 大阪天満宮と藤田家の史跡と美術 矢ヶ崎善太郎

◆都藝泥布 京都地名研究会通信

〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町14-5 入江成治方 FAX075-331-3431
年3000円 2002年創刊 <https://kyotochimei.wixsite.com/kyotochimei>

◇81 2023.7 A4 8p

2023年度総会報告／講演 平安京と地名―重層する京都の地名への挑

戦 講演者：長宗繁一氏（元京都市埋蔵文化財研究所） 岩田 貢

特別講演 京の菓子屋いろいろ

講演者：山口富藏氏（京菓子司 末富会長・本会理事） 入江 成治

全国地名研究者 京都大会報告「地名研究の原点を京都で探る」／参

加記 入江 成治

地名随想

平安京を偲ぶ町名 連載(6) 正親町(おおぎちょう) 清水 弘

「青谷」地名考―城陽市南端の旧村名(3) 岩田 貢

会員の活動紹介 ①京都新聞で紹介されました 龍口明生氏の研究

「今熊野」の読み方／②京都市から不本意な回答 古谷孝造氏の「壬

生道に統一を」との要望に (N)

ご案内 参加者を募集します 「町名について学び、考える会」を起

ち上げます

2023年度 地名ウォーク1 実施報告 (入江)

◆洛北史学 洛北史学会

〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5 京都府立大学文学部歴史学科内

TEL075-703-5259 1999年創刊

http://www2.kpu.ac.jp/letters/hist_studies/rakuhoku/

◇25 2023.6 B5 145p

奈良時代の地方における須恵器生産の展開

一丹波国と周辺の諸窯を事例として 稲本 悠一

隋文帝の仏教政策をめぐる一仁寿舍利塔を中心に 山田 周

中国古銅器の蒐集と倣古・偽古―博物館資料としての再評価に向けて

石谷 慎

室町將軍賜額の様式と展開

日種 真子

書 評

阿部拓児著『アケメネス朝ペルシア―史上初の世界帝国』 森谷 公俊

井上直樹著『高句麗の史的展開過程と東アジア』 篠原 啓方

水本邦彦著『土砂留め奉行 河川災害から地域を守る』 高橋 伸拓

高埜利彦著『相撲(日本の伝統文化シリーズ4)』 ルーベックイアン栄

新刊紹介

- 塚本明著『江戸時代の熊野街道と旅人たち』 原田 宗周
久水俊和編『「室町殿」の時代—安定期室町幕府研究の最前線』 北山 航
尾脇秀和著『お白洲から見る江戸時代「身分の上下」はどう評価されたか』 宮田 匡
ロバート・D・サックス著(山崎孝史監訳)『人間の領域性—空間を管理する理論と歴史』 馬籠 翔

第24回洛北史学会大会

- 大会テーマ「「活用」概念をとらえかえす—文化財保護と歴史叙述」
無形民俗文化財の保護と活用—文化財保護法改正を受けて 村上 忠喜
郡山城跡の史跡指定への取り組み—史跡の保存と活用に向けて 十文字 健
地域の「いま」から文化財の「未来」を考える
—人口減少時代を踏まえて 小山 元孝
コメント 文化財の保存と〈活用〉のために
—有形文化財からみた、調査成果と本質的価値の共有の重要性 三好 英樹
討論(概要)

第23回洛北史学会定例会

- 稲穂将士氏「近世後期丹後国宮津藩の流通政策と地域社会—伊根浦周辺地域を素材に」
徳丸貴尋氏「享保期における町人の茶の湯」
石谷慎氏「中国古銅器の蒐集と倣古・偽古—博物館資料としての再評価に向けて」

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより

〒603-8577京都市北区等持院北町56-1 TEL075-465-8151 1993年創刊
<https://www.ritsumeikan-wp-museum.jp>

◇90 (31-1) 2023.6 A4 19p

- 新館長のご挨拶 東アジアの平和創造の拠点として 君島 東彦
第2期リニューアルにむけて
展示報告 WEB展示 寄贈資料紹介報告
国際平和ミュージアム主催イベント開催報告
平和教育研究センター活動報告
教育普及活動報告
博物館資料(資料収集・保管・利活用)
2022年度活動記録
遊心雑記 シャガの花が咲きました 安斎 育郎

大 阪 府

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円

◇427 2023.7 B5 14p

紀伊国池田荘浦上社の康正二年の鐘銘

一泉佐野に隣接した紀伊の荘園の一齣

廣田 浩治

史料紹介

山本家文書 佐野町場の銭湯

井田 寿邦

泉州の寺社(25) 時雨林庵閨連文書(2)

泉佐野市立公民館『狭野』掲載文書 時雨林庵覚書

一年間を振り返る

事務局

22年度(22年7月～23年6月)・35年目の歩み

◇428 2023.8 B5 10p

史料紹介 山本家文書 幕末の情報収集(1)

井田 寿邦

「山直神社」由緒書を巡る三つの迷宮―山直郷内畑村の行方(4)

池田 雅治

史料紹介 泉州の寺社(26) 佐野村九社関係文書 黒田家文書6の1の

4 井原庄惣産社 年不詳／藤田家文書イ38の3 乍恐願書 文化三

(一八〇六)年九月

◆大阪民衆史研究会報

〒599-0223阪南市光陽台4-5-25 林耕二気付 TEL072-471-8601

<http://www.ac.cyberhome.ne.jp/~minshusi/>

◇335 (30-7) 2023.7 A4 8p

例会のお知らせ 8月例会 石月静恵さん(会員・大阪女性史研究

会)「戦後大阪女性史研究のあゆみ」／9月例会 小林義孝さん(会

員)「地域と「戦争遺跡」の再検討」

7月例会報告 金子昭さん(天理大学おやさと研究所教授)「戦時体

制下における天理教―政府による干渉と教団の時局対応」 文責・林 耕二

憲法を活かした外交努力で、平和を！

岸田政権のアメリカ追従の大軍拡・大增税に反対(3)

渡邊 倬郎

高津尾(和歌山県日高川町)のマリア像発見の地を訪ねる

林 耕二

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内 TEL06-6931-

1081 年5000円 1984年創刊 <http://osakarekikon.cocolog-nifty.com>

◇463 (40-5) 2023.5 B5 8p

巻頭言 神のおやしらのこと(83) 上賀茂神社・下鴨神社 和久 敦也

令和5年4月例会報告(第425回) 懇談テーマ「何故、日本とタイは
他国の植民地にならなかったのか？」大阪歴史懇談会理事 進行・
中澤祐一氏 (報告・朝山)

思い出の例会 第398回例会 令和元年12月15日(日) 大阪市立港区
民センター(梅) 『戦後大阪城天守閣展示資料収集について』—在職
中のいくつかの忘れがたいエピソードを手がかりに— 元大阪城天
守閣館長・本会顧問 渡辺武氏 (報告・井川)

ブック・インフォメーション 特集・歴史図書案内 『古今和歌集入
門 ことばと謎』 佐々木隆、『古今集の世界へ 空に立つ波』(朝
日選書) 竹西寛子、『『古今和歌集』の謎を解く』(講談社選書メチ
エ) 織田正吉、『みそひと文字の叙情詩』—古今和歌集の和歌表現
を解きほぐす 小松秀雄

◇464 (40-6) 2023.6 B5 8p *終刊

巻頭言 神のおやしらのこと(最終回) 八坂神社 和久 敦也

令和5年5月例会報告(第426回) 懇談テーマ「本会閉会に際し多年
に渡り拙稿の存在検証」大阪歴史懇談会理事 進行・小林司氏 (報告・磯崎)
令和5年春の見学会 「じっくり大阪北船場」

案内人(見学会) 和久敦也氏 (報告・和久)

ブック・インフォメーション 特集・歴史図書案内 『蘇る城』(別冊
宝島2401) 加藤理文(監修)、『秀吉の御所参内・聚楽第行幸図屏風』
狩野博幸、『豊臣秀吉と京都』—聚楽第・御土居と伏見城 日本史
研究会(編)、『伏見の歴史と文化』(京・伏見学叢書) 聖母学院
短期大学伏見学研究会(編)、『鳥羽伏見の戦い』—歴史全貌 伏見の
歴史アラカルト 三木敏正

◆かいづか文化財だより テンブス 貝塚市教育委員会

〒597-8585貝塚市畠中1-17-1 TEL072-433-7126 1996年創刊

◇80 2023.6 A4 8p

表紙 要家文書の保管と襖下張り文書

市指定文化財「要家文書」を追加指定—新たに加わった文化財を紹介
貝塚市ができるまで—市制80周年を迎えて 市制町村制による7町村
の誕生／大「貝塚町」の誕生／貝塚市の誕生

講演会「貝塚市の伝統工芸 和泉櫛ヒストリー」を開催しました 市
川秀之(滋賀県立大学人間文化学部教授)「貝塚市の伝統工芸 和

泉櫛ヒストリー」／和泉葛城山ブナ林は国の天然記念物指定100周年
「和泉葛城山ブナ愛樹クラブ」のみなさんがダブル受賞！
孝恩寺の仏像 天部(2) 多聞天／孝恩寺 文化財収蔵庫特別公開が
開催されました
古文書講座一市内に残る身近な古文書 戊辰戦争と貝塚寺内の支配

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階
TEL06-6775-3686 年2200円 <https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/bunka/>
◇884 2023.7 A4 10p 300円
愛知県の近代建築Ⅲ一昭和塾堂・久野邸・川原田家住宅・魚半別邸 川島 智生
三千院と大原の古寺 米屋 優
◇885 2023.8 A4 10p 300円
文献史学から見た乙巳の変 遠山美都男
大化改新と飛鳥宮・難波宮 鶴見 泰寿

◆左海民俗 堺民俗会

〒593-8302堺市西区北条町2丁目10-11 佐原浩二方 TEL072-275-8588 年3000円
<https://ameblo.jp/skmz2014>
◇171 2023.6 B5 8p
堺の町のなりたち(5) 北野田 川村 淳二
森井先生からの便り 佐原 浩二
Chat GPT のお勧め 北埜 秀夫
2022年11月例会報告
地学的観点から見た古市古墳群 担当：佐原浩二 講師：芝川明義 (佐原)
2022年12月例会報告 高師浜線沿線散歩 担当：佐原浩二
2023年1月例会報告 大阪七福神巡り(1)
担当：佐原浩二 講師：山内啓子 講師：許和平
2023年2月例会報告 長浜盆梅展と長浜界限散策 担当：米道綱夫 (佐原)
2023年3月例会報告 平城宮跡散策 担当：一色若夫
2023年4月例会報告 法華寺雛会式と海龍王寺を訪ねる
担当：佐原浩二

◆除痘館記念資料室だより 洪庵記念会除痘館記念資料室

〒541-0042大阪市中央区今橋3-2-17 緒方ビル TEL06-6231-3257 2010年創刊
◇16 2023.6 A4 8p

関屋文白『遊歴日記』と難波抱節

山中 浩之

適塾と合水堂一両塾をめぐる幕末の諸相

古西 義麿

エドワード・ジェンナー人とその生涯

川上 潤

跡見玄山と緒方洪庵

緒方 高志

大坂除痘社中・村井俊蔵における伊勢方面種痘普及活動の動向

浅井 允晶

新刊紹介 佐藤零著『白薔記』

古西 義麿

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TEL06-6652-4511

<http://www.kojyo-tomonokai.com>

◇655 2023.7 B5 22p

近江 草津宿と鉤の陣跡を訪ねる(8月・第718回例会) 今回の見どころ

6月・第716回例会 訪問先:山城 一乗寺山城・雲母坂城

担当幹事:小川実・下岡力

報告・下岡 力

日本古城友の会と私

田村 紘一

長崎県の石田城(福江城)跡を訪ねて(後編)

坂本 昇

別冊(B4 6頁) 第717回 令和5年(2023)7月2日 大和 郡山城を訪

ねる 担当幹事:中西徹・藤岡秀典

◇656 2023.8 B5 24p

摂津 山下城を訪ねる(9月・第719回例会) 今回の見どころ/10月・

第720回例会の御案内 近江 甲賀の城

7月・第717回例会報告 訪問先:大和 郡山城

担当幹事:中西徹・藤岡秀典

報告・藤岡秀典

会員通信 北条氏の城『山中城再訪と葦山城』

水品 弘樹

別冊(B4 6頁) 第718回 近江 草津宿と鉤の陣跡を訪ねる

担当幹事:木下修二・水品弘樹

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円

1988年創刊 <http://toyoreki.way-nifty.com>

◇417 2023.7 B5 12p

渡来人・渡来系氏族の氏姓と系譜

生田 敦司

姫路市東部の遺跡を訪ねて

加藤 豊子

◆昔話 研究と資料 日本昔話学会

〒573-1001枚方市中宮東之町16-1 関西外国語大学短期大学部
阿部奈南研究室

◇50 2023.3 A5 137p

巻頭のことは 昔話研究の継承
講 演

真下 厚

ラフカディオ・ハーン「耳なし芳一」再読—コロナ禍を福となす

「ユニバーサル・ミュージアム学」の開拓

広瀬浩二郎

ヤーコブ・グリムと日本

野口 芳子

ドイツの伝説「ハーメルンの笛吹き男」の変遷と起源について
枯骨をめぐる復讐と報恩

蚊野 千尋

—中国における「歌い骸骨」(AT780)についての一考察

安田 真穂

シンポジウム

シンポジウム「民館説話における動物と人間の関係」の趣旨

康 君子

異類婚姻譚に見られる動物と人間の関係

伊藤 龍平

小石エイ媼の語りからみえるもの

—岩手県上閉伊郡大槌町に伝わる動物の昔話を通して

菱川 晶子

『アラビアン・ナイト』の動物変身譚にみられる心象

康 君子

野生動物との婚姻譚

—アザラシ人伝承とカムイ伝承における人と動物の関係

高島 葉子

昔話横丁

語りは子どもたちとともに

亀井 恵世

ゲール語での語り

岩瀬ひさみ

伝承の語りをつなぎたい

黄地百合子

彙報 2022年度大会

◆歴史懇談 大阪歴史懇談会

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内

TEL06-6931-1081 年5000円 1987年創刊

<http://osakarekikon.cocolog-nifty.com>

◇37 2023.6 B5 103p 800円 *終刊

《最終記念号》

表紙のことは 大阪歴史懇談会シンボルマーク

井川 光正

大阪歴史懇談会の閉会を惜しむ

渡辺 武

大阪歴史懇談会と私

小和田哲男

感謝と敬意を込めて

小西 元子

「石見吉川家」連載終了に寄せて

難波 利三

大阪歴史懇談会の閉会に思う

馬原 浩一

思い出の投稿 1

近世江戸積み酒造業と原料米の流通

一伊丹酒造業を高槻藩の郷払い米

石川 道子

閉会に寄せて

会誌最終号について

田村 紘一

大阪歴史懇談会の思いで

安居 隆行

「四十年間を顧み」一政古文書と私

中澤 祐一

『大阪歴史懇談会』の会員として

磯崎 素子

大阪歴史懇談会の面白さ

和久 敦也

大阪歴史懇談会と私

丘 哲也

当会に捧げる謝恩の辞

岩谷 隆行

思い出の投稿 2

玉山金山(九)一荘厳寺の創建・松坂徳右衛門定久 「荘厳寺物語」

松坂 定徳

本会閉会に際し拙稿の存在を検証する

小林 司

「映画と旅と歴史」

夏原 君代

モンゴルのブルカン・カルドゥン聖山と日月山の位置関係

松田 孝一

会誌「歴史懇談」の歩みを振り返り

磯崎 素子

太閤さんの大阪

和久 敦也

コラム（独り言つ）「おじぎする鹿」

井川 光正

思い出の投稿3 野口英世のなかの中国(覚え書き)

片倉 穰

会誌『歴史懇談』表紙アルバム

会誌編集部

会誌『歴史懇談』の歩み

本会事務局

令和四年度の歩み（総目次 創刊号～第36号）

本会事務局



*大阪歴史懇談会は、はじめ、1983年6月に歴史研究会大阪支部として発足し、翌84年8月に改めて田村紘一氏を代表に創設されたものである。それ以来40年の歴史を刻んできたが、本年6月をもって閉会となった。

会報は1984年9月の創刊で40巻6号(通巻464号。2023.6)、会誌『歴史懇談』は1987年8月の創刊で37号(2023.6)を重ねた。

1990年代後半には300人を超える会員を擁したが、20周年を迎えた頃から、会員の減少と高齢化に危機感をもっていたとのことである。近年はそれに加えてコロナの影響で例会や見学会もなかなか開催できず、活動が停滞していた。これは同会の特別な事情ではなく、全国の郷土史研究会は共通の悩みを抱えている。

『歴史懇談』最終記念号には、田村氏を始め多くの会員からの思い出と、同会と関わりの深かった静岡大学名誉教授 小和田哲男氏の「大阪歴史懇談会と私」、元大阪城天守閣館長 渡辺武氏、『歴史研究』編集長 小西元子氏、直木賞作家 難波利三氏、家系研究協議会事務局長 馬原浩一氏の特別寄稿、また、創刊以来の表紙アルバムと総目次を掲載している。寄稿からは閉会を惜しむ声とともに、研究発表の場なくなることへの懸念も呈されていて考えさせられる。

兵 庫 県

◆源右衛門蔵 宝塚の古文書を読む会

〒665-0836宝塚市清荒神1-2-18 宝塚市立中央図書館市史資料室気付

TEL0797-85-0648 1999年創刊

◇25 2023.6 A5 88p

解説文

御触書訴状控(文化十五年(その一) 前号より続き)[資料番号 B-48] 百姓又治郎倅増二郎引取願／一札(権左衛門倅元二郎人別受取)／一札(権左衛門娘さと人別受取)／乍恐口上(喜兵衛所持灰小屋出火御断)／乍恐口上(出火被害状況等御断)／乍恐口上(出火原因・経過等吟味承札、灰搔御免願)／乍恐口上(灰搔御赦免願)／灰搔并控御赦免願／銀箔隠打相札／東海道・中山道・美濃路・奥州道中人馬賃銭割増／城州・河州・摂州・和州・大川筋御普請御入用銀割賦為村高書出／灰吹銀其外潰銀類銀座之外売買、京都箔方職人以外隠打禁止／大目附江(式分判金新規成立)

御触書訴状控(文化十五年(その二))[資料番号 B-48]

文政改元／三州・岡崎・伊賀八幡神社勧化

『灰小屋の火事』から

『高売布神社の社号標石』を読み終えて(2)

はらだおさむ

山本 久美

江戸時代の農村支配と村役人一庄屋さんの仕事
 和田正宣氏の三回忌によせて
 大田垣蓮月を読む
 梅の花に寄せて
 吉野に行こう！一ロマンティックプレイスヨシノ
 牧之富太郎と長尾村山本園芸の町
 ほんのひととき一きになる
 「古文書」への入口で
 入会のご挨拶と瑠璃光寺の五重塔
 宝塚の古文書を読む会に入会して
 「古文書を読む会」に参加して

乾 文男
 楊井ツヤ子
 森本 敏一
 櫛田 育子
 中安 章夫
 藤本 清志
 山下須美雄
 伊時 芳子
 東 昭
 金山 真樹
 菅原 多香

◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会

〒676-0004高砂市荒井町千鳥2-23-12 TEL079-442-0658 1986年創刊

◇91 2023.7 B5 6p

近世湊と工楽松右衛門―高砂湊の普請

清水 一文

◆西宮文化協会会報

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321

<http://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/>

◇664 2023.7 B5 8p

八月行事 第三回伝統芸能の夕べ 狂言『夷毘沙門』鑑賞会

歌舞伎俳優の思い出

河内 厚郎

豊後で出会った「えべっさん」

森田 正樹

四月行事 記念講演会「日本最初のマラソン大会と西宮―オリンピック

クと兵庫県」講師：田辺真人 兵庫津ミュージアム名誉館長

江寄健一郎

会員活動報告 『三輪山まほろば短歌賞』で全国入選

中村 宏

◇665 2023.8 B5 8p

九月行事 観月祭、月見の宴

「奥夷」者、椎根津彦命也について

二宮 健

五月行事 文化講演会「織姫伝説から近代織物まで」

講師・小玉紫泉氏

江寄健一郎

傀儡(くぐつ)博覧会

湯見 英明

会員活動報告 厳冬の生駒に響く『熱きロックビート』！

中村宏／山本純子

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 TEL078-871-0551
年3000円 1962年創刊

◇359 (62-4) 2023.8 A5 57p 600円

ミニ特集 戦争遺跡を調べる、伝える

二五年目の火垂るの墓を歩く会

辻川 敦

野坂昭如著『火垂るの墓』を読んで

はまだかよこ

防空監視哨について―多可町と西脇市の戦争遺跡

柴田 昭彦

ひょうご史こぼれ話

播磨国黍田村のかくれ芝居―江戸時代の農村歌舞伎

田原 昇

特集 古代播磨の歴史と文化を考える

大嘗祭と播磨

田畑 豪一

地名表記の二文字と好字使用の由来

―播磨国などを例に嘉名を考える

渋谷 武弘

歴史の認識について―「懐風藻」と「古語拾遺」にみる

寺本 躬久

新聞地域版を読む 神戸新聞の文化財記事（2015年3月19日～4月6日）

大国正美／有吉康德

奈 良 県

◆大美和 大神神社

〒633-8538桜井市三輪 TEL0744-42-6633 <http://www.oomiwa.or.jp>

◇145 2023.7 B5 72p

暑中ご挨拶

鈴木 寛治

稗の案

野本 寛一

新たな視点で考える三輪山の古代祭祀

笹生 衛

三輪山セミナー講演録 継体・安閑天皇と和王権

遠藤 慶太

大和の御田植(オンダ)行事

鹿谷 勲

三卯大祭

広 報 室

◆さきがけ 維新の魁・天誅組

〒637-0043五條市新町3-3-1 五條市立民俗資料館 TEL0747-22-0450

◇71 2023.7 A4 8p

A I と人間

柴田 知啓

天誅組 西田仁兵衛を巡る冒険～天誅組小説と史実

山口 高史

刈谷市図書館の天誅組資料

鈴木 哲

和歌山県

◆熊野 紀南文化財研究会

〒646-0051田辺市稲成町392 高山寺 曾我部大剛方 TEL0739-22-0274
年3000円 1969年創刊

◇164 2023.5 A5 54p

みなべ町高野の「金山鉾山跡」と「枕状溶岩」について

—今回の発見に至るまでの経緯とその後の展開	阪本 敏行
空海の出生とその師達—中世の熊野信仰の正体に関する仮説(8)	養 虫
近世田辺領新庄村の組頭	藤井 寿一
濱岸宏一先生を追悼する	曾我部大剛
濱岸宏一先生を偲ぶ	宮本 恵司

郷土関係新刊紹介 熊楠の神／熊野の歴史／熊野研究第一七号

文化財ニュース 『『わんぱく時代』の地から—知られざる佐藤春夫の軌跡—』展／「熊楠と縄文遺跡 土器・ドキッ? 考古資料」展／シンポジウム「新天地の開拓に挑んだ先人が残したもの」／国史跡指定記念シンポジウム「新宮下本町遺跡—中世港町新宮の実像に迫る—」／みなべ町の須賀神社 江戸時代中期の本殿を美しく修復／みなべ町の民家から「田辺県」時代の氏子札が見つかる／「クラウドファンディング成果」展／勝山城跡の発掘調査／「立野遺跡出土品」展／第三三回南方熊楠賞は塚谷裕一氏／南方熊楠とつながりをもつ 青木梅岳に焦点をあてた五館の展示

会合メモ 近世史部会、十二月例会、総会、理事会

◆熊野学研究 国際熊野学会

〒647-0011新宮市下本町2-2-1 新宮市教育委員会文化振興課 TEL0735-23-3368
〒425-0035静岡県焼津市東小川3-5-33 八木勝行方 TEL090-9124-9262
年3000円 2010年創刊

◇11 2023.6 A5 57p

小特集 癒やしの霊場・熊野—災いからの再生

特集にあたって

一遍と名号	金山 秋男
中世熊野詣の救済儀礼	山本 殖生
歌を生み出す熊野の旅	小黒 世茂

研究報告 地域文化の再発見を図る試み

一三重県御浜町における「裏の屋敷」を事例として

山本 恭正

◆熊歴情報 熊野歴史研究会

〒647-0011新宮市下本町2-2-1 新宮市教育委員会文化振興課 山本殖生

TEL0735-23-3368 年3000円

◇229 2023.7 B5 2p

総会報告／研修講演会「ニューヨークの土産話〈熊野信仰資料発見〉」

山本殖生事務局長／歴史講演会 北川央先生「天守建築と城跡整備

一大阪城の事例紹介と近年の各地の課題」／秋の歴史文化ツアー

高野山慈尊院・九度山／『大坂城をめぐる人々』北川央先生／『和歌

山城郭研究』22号

島 根 県

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1 稲根克也方 TEL0853-53-4966

年2500円 1974年創刊

◇215 2023.7 B5 40p

私の出雲大社探訪(2) 境内の中へ

木村 進

大社本殿真菰注連縄考(3)

田中 文夫

近世杵築の富興行と寄札数の推移

山崎 裕二

近世の石見と杵築大社(続)

斎藤 一

出雲地域の歴史と文化(21-3)

大社造系本殿の形式と出雲地方における分布(3)

野坂 俊之

紙上「古文書講座」第5回(中級編①)

出雲市文化財課

令和5年1月～3月出雲市大社町年表

編集部

ギャラリー展「いつまでも戦後でありたい2023—旧大社基地滑走路に

残る作業者の足あと」

出雲弥生の森博物館(三原一将)

夏季企画展「しまね×交通クロニクル—北前船からフォードまで」

島根県立古代出雲歴史博物館

表紙写真 出雲大社拝殿の大注連縄(撮影・川上淳氏 大社町美術協

会写真部)

岡 山 県

◆岡山藩研究 岡山藩研究会

〒169-8051東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学教育学部 大橋研究室気付

<http://okayamahanwaseda.seesaa.net/?1465280813/>

◇92 2023.6 B5 8p

〈第30回総会の記録〉 2022.9.11

報告要旨 中近世移行期における島津氏の宗教制度政策とその変容過

程——向宗禁制とキリシタン禁制を対象に

濱島 実樹

参加記

濱島実樹報告「中近世移行期における島津氏の宗教制度政策とその

変容過程——向宗禁制とキリシタン禁制を対象に——」参加記

大森 映子

濱島実樹氏の御報告を聞いて

堀 新

◆きび野 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号 TEL086-233-2505

<http://www.o-bunka.or.jp>

◇168 2023.6 A5 14p

表紙説明 渡辺文三郎『松島』制作年不詳(19～20世紀)

廣瀬 就久

随想二題

土手を歩く

ゆきかわゆう

鳥城彫 創業百周年を迎えるにあたり(後編)

スミス昭子

岡山の人物 森近運平

首藤ゆきえ

岡山の自然 長楽の滝

森元 純一

岡山の文化財 大宮踊

前原 茂雄

わが町・わが村の自慢 渚の交番 ひなせうみラボ(備前市日生町)

ふるさとの思い出 昔倉敷のはなし 倉敷鳥瞰絵図への想い(倉敷市)

会員だより 里山の散歩道

江崎 仁子

広 島 県

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8 TEL084-953-6157 <http://bingo-history.net>

◇230 2023.7 A4 16p

備後国衆列伝(16) 御調郡の古志氏

田口 義之

福山城天守北壁面の鉄板装甲の目的Ⅱ—勝成は何をを考えていたのか

瀬良 泰三

中世石造物の調査報告
徳田要害山城跡について

文責・篠原芳秀
中世史部会

近世福山の歴史講座 46回 第十一部 水野時代総集編

水野家改易、福山城接収

高木 康彦

史料紹介 井上家文書(7) 内済為取替約定書之事

文責・小林悠一

◆広島民俗 広島民俗学会

〒731-0211広島市安佐北区三入1-26-24 岡崎環方 TEL082-818-3497

1974年創刊 <http://fs-hiroshima.net>

◇99 2023.7 A5 72p 700円

設立50年を前に

岡崎 環

調査報告 安芸の国の狍犬

佐古 憲作

西瀬戸内海で見聞した「尾道」のこと

高木 泰伸

流れ着いた福の神―漂着物観察記

林 良司

尾道市の民俗文化財保護に寄与した寺岡昭治さんの逝去を悼む

八幡 浩二

国指定重要無形民俗文化財 比婆荒神神楽を伝える

正本真理子

◆みよし地方史 三次地方史研究会

〒729-4304三次市三良坂町三良坂2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753

1987年創刊

◇121 2023.8 A4 16p

推定「寄国固屋」跡の発見

面手一義／谷本寛

三次盆地の前方後円墳(27) 出水西第一号古墳―調査報告

加藤 光臣

史料紹介 嘉永三年(1850)の風水害

一三次市下志和地町山田家所蔵「御用控」より

立畑 春夫

2023(令和5)年度総会記念講演『わたしの歴史楽―広島県の中世史研

究雑考―』木村信幸さん(みよし風土記の丘ミュージアム館長)

安政二年 芋の藪井手堰手樋水落方差縫内済口書

中畑 和彦

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932

◇388 2023.7 B5 12p

表紙 歴史講演会完結編終了 ご講演中の秋山伸隆先生

2023.6.10 撮影：正田哲夫(本町)

今月の各地 若い大学生の見た三原市とは？

宮原 幸司

令和5年度総会等報告

事務局

旅日記1 仏教学者・教育者 高楠順次郎	友宗 邦夫
大募集！レキカン会員が推す三原の名所	鈴木 健次
三原の、広島県の、江戸期の陸上交通(1)	三好 邦範
◇389 2023.8 B5 12p	
表紙 盛況だった半ドン夜市 本町通りと帝人通りは過密状態	
2023.7.15 撮影：鈴木健次(宮浦)	
今月の各地 特殊詐欺	大谷 和弘
昭和の思い出(1) 電話等	大谷 和弘
本町いろは歴史講座 「シン・本町物語1 前刷り」	橋本 敬一
三原の、広島県の、江戸期の陸上交通(2)	三好 邦範

徳 島 県

◆徳島県立博物館研究報告

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 Tel.088-668-3636

1991年創刊 <https://museum.bunmori.tokushima.jp>

◇33 2023.3 A4 93p

アサギマダラの移動に関する徳島県の記録(2022年) 大原賢二／山田量崇
徳島県の園瀬川水系で確認された魚類

井藤大樹／奥村大輝／古川学／庄野耕生／日美由
紀／上田悠哉／池端伸悟／奥村芽衣／佐藤陽一

徳島県吉野川河口域の塩性湿地内底生動物の生態分布

和田恵次／黒田美紀／鎌田磨人

高知県の鮮新-更新統唐ノ浜層群穴内層から新たに確認された貝類(10)

三木健二／中尾賢一

八貫渡銅鐸考

菅原 康夫

前山遺跡の馬形埴輪の徳島県における位置づけ

河内 一浩

徳島県吉野川から得られたアカメの幼魚

古川学／井藤大樹／佐藤陽一

マツヘリカメムシ(*Leptoglossus occidentalis*)の徳島県からの記録

大原 賢二

徳島県で採集されたニッポンシヤミセンヒキ *Koreamya setouchiensis* Goto,

Ishikawa & Hamamura(ウロコガイ上科)

吉松定昭／河野光／和田太一

クサビガヤ *Sphenopholis obtusata* (Michx.) Scribn. の宮崎県への帰化

茨木靖／齋藤政美

タデアイからインジゴを抽出する2新手法

小川 誠

◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636

1990年創刊 <https://museum.bunmori.tokushima.jp>

◇131 2023.6 A4 8p

美しすぎる貝—ショウジョウカタバガイ 小川 誠

Culture Club 海部川河口の伏流水中から見つかった正体不明のミミ

ズハゼの仲間 井藤 大樹

令和5年度企画展「かがやく生きもの—光をまとった生きものの不思議な世界」

情報BOX ドイツ・フンスリュック粘板岩の化石の寄贈について 辻野 泰之

館蔵品紹介 雲仙岳の噴火を伝える絵図資料—寛政四壬子肥前島原大

変次第(阿波国文庫)の紹介 松永 友和

レファレンスQ&A 「鳴門わかめ」の伝統的な製法、灰干しワカメ

とはどのようなものですか? 磯本 宏紀

愛 媛 県

◆遺 跡 遺跡発行会

〒791-2101伊予郡砥部町高尾田1108-3 そがめ塾気付 TEL089-905-2925

1968年創刊

◇55 2023.3 B5 232p 1800円

《特集 愛媛の縄文・弥生時代の石器(Ⅲ)》

特集 愛媛の縄文・弥生時代の石器(Ⅲ)

愛媛県久万高原町・城川町の縄文弥生時代の石器

—縄文草創期を中心として

宇和島市三本杭(標高1226m)山頂採集の旧石器

愛媛県縄文・弥生時代石器出土遺跡一覧表(Ⅲ)

松山市打越古墳墳丘測量調査写真速報

唐子台遺跡群の鏡

愛媛県東予東部の鏡

四国松山平野の初期農耕段階に伴う横刃型刃器類に対する認識

松山市大洲遺跡出土の脱穀・粉砕関連具

雄之尾1号墳の墳形と出土遺物

北条平野周辺の箱式石棺

松山市の主要古墳(旧北条市編)

八幡浜市小網代天満神社の鳥居

十亀 幸雄

十亀 幸雄

遺跡発行会

遺跡発行会

名本二六雄

名本二六雄

幸泉 満夫

幸泉 満夫

正岡 睦夫

正岡 睦夫

正岡 睦夫

清水 真一

松山市俵原池用水と円筒分水工 河原茂／十亀幸雄

江戸・明治期の砥部陶磁器窯跡(第1報)

坂本窯跡・七折唐津山窯跡・砥部陶器業窯跡 十亀 幸雄
会所だより

例会・会務報告(2022年1月～2023年3月) 山之内志郎

『いせきニュースレター』目次(第161号～第173号)

受贈図書(2022年3月～2023年3月)

◆いせき ニュースレター 遺跡発行会

〒791-2101伊予郡砥部町高尾田1108-3 そがめ塾気付 TEL089-905-2925

◇170 2022.12 A4 24p

宇和島市三本杭(1226m)山頂採集の旧石器 十亀 幸雄

東予東部の鏡(2) 東宮山古墳の「長宜子孫内行花文鏡」 名本二六雄

雉之尾1号墳出土の二重口縁壺 正岡 睦夫

『いせきニュースレター』目次 第161～第169号(2022.3.1～2022.11.1)

◇171 2023.1 A4 16p

東予東部の鏡(3) 東宮山古墳の「長宜子孫内行花文鏡」(2) 名本二六雄

雉之尾1号墳の墳形 正岡 睦夫

宇和島藩領廣福寺所蔵牛王寶印と廣福寺修験 十亀 幸雄

◇172 2023.2 A4 20p

唐古台遺跡群の鏡(7) 治平谷7号墳の内行花文鏡 名本二六雄

愛媛県久万高原町・城川町の縄文弥生時代の石器
—縄文草創期を中心として 十亀 幸雄

◇173 2023.3 A4 16p

松山の古墳(14) 久万ノ台古墳 正岡 睦夫

砥部焼窯元名のある岩谷口明治42年里道改修記念碑
—明治時代の産業道路 十亀 幸雄

◇174 2023.4 A4 12p

松山市打越古墳墳丘測量調査写真速報

境界神—久万高原町の鬼の金剛 十亀 幸雄

◇175 2023.5 A4 16p

唐古台遺跡群の鏡(8) 雉之尾2・3号墳の鏡 名本二六雄

松山の古墳(15) 忽那山古墳 正岡 睦夫

伊予の近世城郭石垣構築技術(8)

宇和島城の織豊期シノギ積み石垣(2)—長門丸門南石垣 十亀 幸雄

◇176 2023.6 A4 20p

共同研究報告 松山市打越古墳の墳丘測量報告	遺跡発行会
東予の鏡(4) 朝倉・根上り松古墳出土の四神四獣鏡(上)	名本二六雄
伊予の近世石工(4) 愛媛県有石工銘石造物一覧(第4版)	
2023年5月28日までの調査による	十亀 幸雄

◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007松山市堀之内 愛媛県立図書館内 1915年創刊

◇410 2023.7 A5 69p 750円

《創立110周年記念特集号(1)》

伊予史談会創立110周年を迎えて	山内 譲
------------------	------

伊予史談会 この10周年	柚山 俊夫
--------------	-------

特集 地域史研究の現状と課題

内子町郷土研究会の歩み	大野千代美
-------------	-------

長浜史談会の活動について	上川 慶信
--------------	-------

今治史談会について	南條 高輝
-----------	-------

松前町松前史談会の歩み	平井 屯
-------------	------

伊予史談会創立110周年記念事業	編集部
------------------	-----

表沙汰にされなかった山村農民の逃散

一徳島藩領三好郡と今治藩領宇摩郡の場合	村上 憲市
---------------------	-------

動向 「伊豫稲荷神社宝物館」文化財保存管理活用調査委員会の活動

について	門田 眞一
------	-------

新刊紹介 新居浜市市史編さん室編・藤田達生監修『新居浜市史調査

報告書 金子家文書』、青木亮人著『愛媛文学の面影』中予編・東

予編・南予編、福田千鶴・武井弘一編『鷹狩りの日本史』、松山市

教育委員会監修『図説 日本の城と城下町⑥ 松山城』、井上正夫

著『古地図で迷う愛媛の歴史』、正岡明著『手紙からみた明治の群

像 子規の叔父加藤拓川と日露戦争の時代』、一般社団法人今治城

濠共有者組合編『一般社団法人今治城濠共有者組合の設立と経緯

改訂版』、研究代表者 松永和浩『「飲む村のむら」愛媛県西予市野

村町の酒文化調査—シビックプライドの醸成と継承のために』	編集部
------------------------------	-----

郷土その日その日 自令和4年11月至令和5年4月	編集部(柚山俊夫)
--------------------------	-----------

愛媛県立図書館所蔵愛媛県行政資料の画像検索データの公開について

例会記事 第1283回 大八洲教会長 常磐井精戈の教化活動 森永光

彦氏、愛媛県における文化財保護の歴史 日和佐宣正氏／第1284回

総会、『予章記』と『太平記』 小助川元太氏／第1285回 創立

110周年記念式典、公開シンポジウム「松山城研究の最前線」

◆砥部古文書の会 ニュースレター

〒791-2101伊予郡砥部町高尾田1108-3 そがめ塾気付 TEL089-905-2925

◇1 2022.4 A4 2p

砥部古文書の会設立総会へのご案内／2021年12月準備会例会 風景
2月準備会報告

◇2 2022.6 A4 4p

6月例会のご案内／例会風景 砥部町公民館 4階会議室

◇3 2022.8 A4 5p

8月例会中止／6月例会報告／6月例会風景 砥部町公民館 4階会議室

古文書を読むということー伊藤允讓を例に／柚山先生配布資料より

古文書を原稿用紙に書き写して古文書を学ぶ学習方法 柚山 俊夫
「社寺古跡山川由来書」円通寺の項 宮本 直美
円通寺探訪 (十亀記)

◇4 2022.10 A4 4p

10月例会のご案内／例会風景 砥部町公民館 4階会議室 2022.6

10月例会古文書講座 「社寺古跡山川由来書」兵右衛門の石塔の項 宮本 直美

10月例会参加者の明さんへ 書き写して学ぶ古文書(2)

報告 岩谷口村日野家旧庄屋探訪 十亀 幸雄

◇5 2022.12 A4 8p

12月例会のご案内／10月例会報告／10月例会風景 砥部町公民館会議室 2022.10.19

12月砥部古文書講座 「社寺古跡山川由来書」拾町荒神社の項 宮本 直美

12月例会参加者の明さんへ 書き写して学ぶ古文書(3)

報告 『大日本窯業協会雑誌』がおもしろい 高木 泰伸

報告 上麻生村門田家旧庄屋跡探訪 十亀 幸雄

◇6 2023.2 A4 12p

2月例会のご案内／12月例会風景 砥部町公民館会議室 2022.12.21
／12月例会報告(記録・森永とめ子)

2月砥部古文書講座

「社寺古跡山川由来書」高尾田権現社・矢取明神・八蔵寺の項 宮本 直美

2月例会参加者の明さんへ 書き写して学ぶ古文書(4)

報告 砥部川上流から中流域の堰巡り 大西 朋子

◇7 2023.4 A4 8p

4月例会のご案内／2月例会風景 砥部町公民館会議室 2023.2.8／

2月例会報告

砥部古文書講座 「書き写して学ぶ古文書」第4回解答
砥部岩谷口から千足への里道を歩く―明治時代の産業道路

宮本 直美
十亀 幸雄



＊砥部古文書の会は2022年4月に、太田由美子氏を会長に発足した。目的は会則に、「古文書を通して砥部の歴史を学ぶとともに、会員相互の連絡と親睦を密にし、砥部の歴史文化顕彰に努める」とある。地元史料を材料に、ほぼ隔月で古文書講座(例会)を開催している。

『砥部古文書の会ニュースレター』は、同じ月に設立総会に向けて創刊された。当初はA4判2頁から4頁で例会の案内や入会を勧誘するものであったが、第3号(2022.8)からは頁数も増え、例会で使用した史料の読み下しや、書き写して学ぶ学習法の手稿(添削付き)、歴史探訪報告、論考も掲載されるようになっている。

毎号の編集後記から、古文書解読法を学びながら、郷土の歴史について語り合う楽しさが伝わってくる。着実に継続されることを期待したい。

佐賀県

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0823唐津市旭が丘6-5 TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊

◇234 2023.6 B5 20p

「唐津の近世文書教室」 古文書史料紹介『諸岡文書』H503

寺沢広高没後三九〇年

唐津炭田を考える

『文政三年大小庄屋由緒書上帳・松尾家文書』を読む

『佐志将監家の法名の人物の比定と仮説(試論)』

唐津・発掘・発見の話(22) 瓢塚古墳と田島神社について

唐津の近世考古学から(1)―ウマ

濱口 尚美

寺沢 光世

本告 正澄

山田 洋

岡田 学

徳富 則久

田島 龍太

宮 崎 県

◆石の証言 「八紘一字」の塔を考える会

〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方 年2000円 1995年創刊

◇112 2023.7 A4 16p

石の証言 基壇の礎石群 1個の石の大きさ = 45×60、60×45、60×60、30×30cm…

「八紘一字」の塔案内

「第92回憲法と平和を考えるつどい」城野一憲福岡大学准教授 (追立)

総会報告

『祖国振興隊』について

土岐 宗春

全国各地の「八紘一字」の石碑(2) 再掲：第11号(1996年3月5)、第12号(1996年10月5日)、第68号(2015年7月15日)、以下次号 第69号(2015年11月15日)、第70号(2016年1月15日)

追立 敏弘

宮崎大学関周一先生の「宮崎の戦争と近代」の受講生を塔案内

知念正真作戯曲『人類館』から「沖縄」を考える(1)

一人類館事件(続き)

杉尾 宏

読書案内 杉尾周美著「航跡」『龍舌蘭208号(2023)』

映画は時代を映す鏡(1)

税田啓一郎

付録(4頁) 総会資料

◆宮崎県地域史研究 宮崎県地域史研究会

〒880-8520宮崎市船塚1-1-2 宮崎公立大学人文学部 大賀研究室気付

TEL0985-20-2000 年3000円 1993年創刊

◇35 2023.6 B5 33p

日本の涅槃図における動物表現の独自性について

松田 佳奈

実践報告 社会科・地歴科教育における地域資料の活用

竹村 茂紀

2022年度 宮崎大学・宮崎公立大学卒業論文要旨

綜芸種智院の実態の再検討

三原 知恵

大友氏の朝鮮通交一息浜支配と博多商人との関係から

山浦 皆斗

紀州広村の災害復興の意義

日高 雅史

東郷平八郎が神格化された要因の検討

一小笠原長生の著書の分析を通して

池永 悠馬

延岡藩の福祉政策―「寄特者書出」から探る

柚木原香好

鹿 児 島 県

◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会

〒891-0150鹿児島市坂之上3-11-2 松原武実方 TEL099-261-2604 年4000円

1950年創刊

◇163 2023.6 B5 111p

《下野敏見先生一周忌追悼号》

下野敏見先生一周忌追悼特集 下野敏見先生の民俗学

総論

小島 摩文

下野敏見先生とフィールドワーカー文化圏を俯瞰する視座

砂田 光紀

下野敏見と周圏論

井上 賢一

下野先生の棒踊成立論をめぐる

松原 武実

下野敏見と信仰研究

楠本 智郎

下野敏見のシャーマニズム研究

渡辺 一弘

下野敏見先生の昔話研究

御鍵 宗充

下野敏見と奄美研究

町 健次郎

幸運だった一冊の本との出会い

長田 君應

下野敏見先生年譜

小島摩文編

表紙写真解説 日吉町吉利 下内門(したうちかど)のウッガンサー

(内神様)祭り

渡山 恵子

向井長助翁(南種子町平山)の語る水稻栽培の沿革

松原 武実

ガラッパ精神と川内大綱引き一月桂冠、川内ガラッパの腕にあり

森田 清美

雑記 消えたシュクの寄り(1)

名越 護

南種子町の盆行事―聞き書き

牧島 知子

雑記 消えたシュクの寄り(2)

名越 護

宇検村のカツオ漁師盛衰記 本土人が“魚群”を発見

名越 護

島の民俗語彙(後編(2))

橋口 満

民衆は蝶を女性(雌)視してきたか―その方言の民俗学的意味を探る

橋口 満

徳之島町の穴八幡

名越 護

雑記 民俗学へ導いた横当島での失敗

名越 護

資料 除証文 川辺郷 自安永五年至天明六年

前床重治・編

活動報告 例会、民俗学講座「民俗学を学ぼう」第1回「民俗学こと

はじめ」(松原記)／令和5年総会 報告／令和5年の活動計画

沖 縄 県

◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013平良市下里1223-8 下地和宏気付 TEL0980-72-9963

年3000円 1977年創刊 <https://kyodoshiken.ti-da.net>

◇257 2023.7 B5 8p

七月定例会レジメ

ドイツ商船ロベルトソン号をめぐる最新の研究成果と今後の課題 辻 朋季
八月定例会レジメ 伊良部島南海岸の御嶽と遺跡 森谷 大介
蔵元(蔵許)の始まり—五月定例会を終えて 下地 和宏
大嶽城の周辺をめぐる—六月定例会を終えて 事務局
新刊紹介 宮古島市史第三巻自然編第Ⅱ部「みやこの自然と人」／宮

古島市史資料8『佐良浜の祭祀歌謡—モトムラのオヨシを中心に』久貝 弥嗣
「宮古島市の住民避難壕」展 久貝 弥嗣
投稿企画「私のイチ推し文化財」「先島諸島火番盛」 池城 直
令和五年度 平和展—モノが語る戦争— 実践報告 湯屋 秀捷
投稿企画「私のイチ推し文化財」 戦時疎開と「サディフ井(ガー)」 仲宗根將二
真佐久(与那覇勢頭豊見親)のこと 大西 威人

寄贈図書紹介

◆開館記念展 会津只見は民具がいっぱい！ 1万点—国指定重要有形民俗文化

財「会津只見の生産用具と仕事着コレクション」の大公開 企画展図録1

ただみ・モノとくらしのミュージアム編・刊(〒968-0602 福島県南会津郡只見町大字大倉字窪田30 TEL0241-86-2175) 2022年7月 A4 29頁

国指定重要有形民俗文化財「会津只見の生産用具と仕事着コレクション」2333点を収蔵・展示するため新たに開館した“観る”民具の博物館「ただみ・モノとくらしのミュージアム」の開館記念展図録。町民主体による「只見方式」として町全体で収集・管理してきた約1万点の民具の中から281点を厳選して紹介する。ごあいさつ(久野俊彦)／開催概要・例言／第1章 田んぼのめぐみ 稲作道具／第2章 屋根ふき用具／第3章 川のめぐみ 魚捕り用具(漁撈用具)／第4章 山のめぐみ 狩りの用具(狩猟用具)／第5章 山のめぐみ 木を伐り、家の材を作る用具(山樵用具)／第6章 山のめぐみ 山菜採り用具(自然物採集用具)／第7章 ツル細工用具とザル・ハケゴ(蔓細工用具・製品)／第8章 アサ・シナカワの糸作り用具(製糸用具)／第9章 仕事着／国指定民具収蔵庫・みんぐふれあいホール解説・民具収蔵庫棚配置図／町民による民具整理のあゆみ

◆第1回テーマ展 ただみ・冬の暮らし ただみ・冬の暮らし展示ガイド

ただみ・モノとくらしのミュージアム編・刊(同上)2023年1月 A4 8頁

ただみ・モノとくらしのミュージアム第1回テーマ展の展示ガイド。日本有数の豪雪地帯である会津只見地方の冬の暮らしの工夫を紹介。はじめに／第1章 暖をとる／第2章 身にまとう／第3章 雪で遊ぶ・家で遊ぶ／第4章 雪を掘る

◆国重要有形民俗文化財 会津只見の生産用具と仕事着コレクション

解説・資料目録 ただみ・モノとくらしのミュージアム報告書1

ただみ・モノとくらしのミュージアム編・刊(同上)2023年3月 A4 67頁

只見町文化財調査報告書第13集『会津只見の生産用具と仕事着コレクション 国指定重要有形民俗文化財』(2005年、只見町教育委員会)を増補改訂して再編する。口絵／はじめに(久野俊彦)／例言／只見町概要図／第1章 只見町における民具の収集・整理・記録(第1期:民具収集活動のはじまり、第2期:只見町史編さん事業と民具整理運動、『図説会津只見の民具』の刊行、第3期:民具と語る会と民具保存活用運動、只見方式の民具整理による国重要有形文化財の指定、神奈川大学 COE 只見町インターネット・エコミュージアム、国指定民具の収蔵展示施設 ただみ・モノとくらしのミュージアム)／第2章 只見町の自然と歴史(只見町の自然と人々の暮らし、只見町の歴史とくらし)／第3章 会津只見の生産用具と仕事着コレクションの特色(只見町の自然とその恵み、会津只見の生産用具と仕事着コレクションの特色)／第4章 会津只見の生産用具と仕事着コレクションの諸相(自然物採集用具、農耕用具、狩猟用具、漁撈用具、山樵用具、製糸用具、蔓細工用具、屋根葺き用具、仕事着)／国重要有形民俗文化財「会津只見の生産用具と仕事着コレクション」資料目録／文献目録

◆シンポジウム報告書 奥会津の戦国期文化をさぐる—学僧祐俊の旅と文化遺産

小池淳一編 福島県会津只見町教育委員会(〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591-30 TEL0241-82-5320)2023年3月 A5 79頁

近年只見町、南会津町、金山町で見出された戦国時代の新資料を取り上げ、その意義と価値をめぐって開催されたシンポジウム(2021年10月31日)の報告集。はじめに／報告1 戦国期の学僧祐俊の旅と文化遺産(久野俊彦)、コメント1(阿部美香)／報告2 仏教典籍の中央と地方—奥会津で発見された古典籍の価値(阿部泰郎)、コメント2(ブライアン・ルパート)／報告3 京都と東国の交流—京方法流本寺僧侶の東国下向と会津(坂本正仁)、コメント3(近本謙介)

◆昭和期八王子の保育の歴史と女性たち 八王子女性史サークル研究報告

八王子女性史サークル編・刊(〒192-0911 東京都八王子市打越町346-1-601 坏文子方)2023年7月 A4 88頁

刊行にあたって／戦前の八王子の保育園—八王子市社会事業協会資料と新聞調査より(坏文子)、コラム 船森保育園の思い出—山本千枝子さんの聞き取りより／

農繁期託児所について―旧恩方村役場文書を中心に(山辺恵巳子)、コラム 昭和30年代の私立保育園―敬愛保育園の記録より／戦後八王子の子育ての変遷と特徴―『聞き書きで綴る八王子の女性史』に見る子育て(市川晶子)／八王子の保育関連年表(昭和期)、八王子市保育園一覧(戦後～平成期)／あとがき

◆高木助一郎日記調査報告書 3 (第十号～第十七号) 文化財研究紀要別冊31

東京都北区教育委員会教育振興部飛鳥山博物館事業係編 (〒114-0002 東京都北区王子1-1-3 TEL03-3916-1133) 東京都北区教育委員会 (〒114-8546 東京都北区滝野川2-52-10 TEL03-3908-9279) 2023年3月 B5 249頁

平成22年に「北区指定有形文化財(古文書)」に指定されたから高木助一郎日記の調査報告書第3集。旧王子町役場土木課長・第2回王子区会議員を務めた高木助一郎が、明治41年(1908)8月1日から昭和22年(1947)8月5日まで、計49冊にわたって書き綴られた日記から、第1集(2011年3月)、第2集(2021年3月)に続き第10号から第17号(大正2年～5年分)を翻刻・収録する。口絵／ごあいさつ(野尻浩行)／刊行の辞(加藤貴)／解説／調査報告1 明治末期および大正初期の王子町における洪水被害とその対応―高木助一郎日記の分析を通して(新井翠)、調査報告2

十条地域における信仰行事と運営主体―高木助一郎日記十～十七号を中心として(角田くるみ)／第十号 大正二年一月～六月／第十一号 大正二年七月～十二月／第十二号 大正三年一月～七月／第十三号 大正三年八月～十二月／第十四号 大正四年一月～六月／第十五号 大正四年七月～十二月／第十六号 大正五年一月～六月／第十七号 大正五年七月～十二月／挿絵等一覧／調査関係者・研究会記録

◆名号塔入門 名号塔の知識

岡村庄造著 日本石仏協会 (〒254-0031 神奈川県平塚市天沼7-59-305 中森勝之方 TEL0463-24-0203) 2023年7月 A5 79頁

日本石仏協会の機関誌『日本の石仏』誌上の連載「誌上講座」をまとめた「梵字入門」(2009年)、「石塔入門」(2011年)、「金石文入門」(2014年)に続き、「南無阿弥陀仏」の文字が刻まれた名号塔についての連載講座37回(No.133 2010年3月～No.172 2020年12月)をまとめる。序文(坂口和子)／一遍と二祖他阿真教／彈誓と後継者／祐天と後継者／徳本／徳本弟子および類似名号書体／唯念と義賢／播隆と見仏／靈随と至實／浄嚴と佐渡の念仏塔／富士・丹沢南麓の名号塔／性谷等順と松本周辺／大巖寺名号四面石塔／千葉・徳願寺ほか名号塔／越谷市近辺の名号塔／妙哲尼／梵字名号塔／南四国の名号塔／無能と羽前の名号塔／長野県松本市の名号塔／東京近辺の名号塔／但馬地方の名号塔／光導と北陸の名号塔／名号塔しるべ石／和歌山県の徳本塔／北四国の名号塔／木食名号塔ほか／山陰三養の名号塔／東北の名号塔／変わり名号塔／畿内の名号塔／中部東海の名号塔／九州の名号塔／武蔵の名号塔碑／名号ア・ラ・カルト／熊野万歳峠の一遍名号／熊野

万歳峠の一遍名号／時宗名号書体 一遍から二祖へ

◆和歌でたどる良寛の生涯

野積良寛研究所(所長：本間明)(〒940-2501 新潟県長岡市寺泊野積203-8 TEL 090-2488-8281) A4 70頁

良寛の出家／円通寺での修行／良寛の帰国前の旅／良寛の帰国／越後での不定住時代／五合庵入庵／父の死／五合庵での生活／自然や花を愛する・春・夏・秋・冬／清貧に暮らす／托鉢／修行と自省・自戒／自己犠牲の愛一月のうさぎ／命あるものへの慈愛の心／子供たちと遊ぶ／亡くなった幼子たちへの哀傷歌／農民に寄り添う／いにしえを学ぶ／弟香／末弟 宥澄／富取之則／原田鶴斎／三輪左一／有願／阿部定珍／解良叔問／大忍魯仙／大村光枝／亀田鵬斎／離別した妻への思い／弟由之への励ましと橘屋の滅亡／若者達との交流／乙子神社草庵への移住／旅に生きる由之／妹むらとおゆうの死／維馨尼／国上山への別れ／晩年一木村家庵室時代／浄土思想への傾倒／寺泊での夏籠もり／貞心尼との清らかな心の交流／三条地震／晩年の由之との交流／山田家との交流／盆踊り／ざくろ／病臥した良寛と貞心尼／冬と病の歌／辞世の句／遷化／良寛の略年表／新潟県(中央地域)広域マップ

◆若い人にぜひ伝えたい一砺波地方の衣の歴史

砺波市立砺波郷土資料館編・刊(〒939-1382 富山県砺波市花園町1-78 TEL0763-32-2339) 2023年3月 A4 31頁

令和4年度文化庁 Innovate MUSEUM 事業。昔の小学生 今の小学生／明治時代は和服 今は洋服／どんな材料でできている？／綿織物は植物の綿から／綿織物は福野地域が名産地／木綿と麻は使い分け／麻織物は植物の麻から／砺波地方の織物の歴史／絹織物は蚕から／化学繊維は石油・石炭から／毛織物は動物の毛から／洗濯の移り変わり／はきものの移り変わり／おもな布地の種類・特徴・産地／掲載した民具の一覧／今も“きもの”で

◆現代語訳 上井覚兼日記 3

天正十三年(一五八五)正月～天正十三年(一五八五)十二月

新名一仁編著 ヒムカ出版(〒880-0954 宮崎県宮崎市小松台西1-3-5 TEL0985-47-5962) 2023年7月 A5 261頁 2200円＋税

島津義久配下の武将として活躍した上井覚兼(天文14年<1545>～天正17年<1589>)の日記(『大日本古記録 上井覚兼日記』(中)(下) 東京大学史料編纂所本)の現代語訳第3集。九州への介入が明らかとなった羽柴秀吉と未だ定まらない豊後大友氏への対応に苦慮するなか、島津家久や国衆の動きが活潑になる天正13年分を収録する。凡例／天正十三年あらすじ／天正十三年(一五八五)正月、二月、三月、四月、五月、六月、七月、八月、九月、十月、十一月、十二月／上井覚兼年譜／上井覚兼所在地年表(天正13年正月～天正13年12月)／天正13年頃の肥後周辺図／

天正13年頃の北部九州勢力分布図／天正13年頃の島津氏地頭・領主配置図／八巻孝夫氏作成の宮崎城縄張図(2013年)

◆後記

本誌161(2023.5)で世田谷区史編纂問題を紹介したが、7月に、当事者の谷口雄太さんを代表とする「歴史学と著作権」研究会が主催する緊急シンポジウム「歴史研究と著作権法―世田谷区史編纂問題から考える」が都内で開催された。会場は70名を超えて満席、オンライン参加者も50名近くあったとのことである。著作権法研究者 長塚真琴さんの「著作者人格権と契約」、歴史研究者 石原俊さんの「歴史研究者と自治体史・誌―歴史研究者の「著作者人格権不行使」を容認すべきでない社会的・規範的背景」の問題提起と、自治体史の編纂に携わった研究者から編纂に際して考えること、流山市史編さんにおける改ざん、著作者人格権不行使特約を強要されそうになったイラストレーター、出版関連産業でフリーランスとして働く編集者らの職能的地位と出版文化の向上に取り組む出版ネッツほかからの事例報告と参加者からの質疑・発言があり、充実した内容であった。著作者人格権は著作者固有の誰も犯すことのできない権利であることは勿論だが、長塚さんはその機能を「文化を守る公序性」と表現された。また、石原さんは、著作者人格権の背景には学問の自由があり、それによって研究者は、「自治体史・誌の内容の学術的精確性・妥当性について(半永久的に)責任をとる」のだと述べた。行政は優れた自治体史を刊行しようとするなら、このことを深く認識しなくてはならない。さらに気になるのは、編纂委員会の動静、見解が全く伝わってこないことである。この問題は行政と当事者個人に帰すものではないはずである。自治体史とは何か、誰のものであるのか、区民を置き去りにしてやしないかと考えさせられる。シンポジウムでは自治体史編纂にポストクなど立場の弱い若手研究者が多く参加していることも浮き彫りにされた。幾重にも深刻な問題であると思う。(飯澤)

地方史情報 163 2023年(令和5年)9月1日 発行

編集・制作 : 白鳥舎 hakucho@eris.ais.ne.jp

ウェブサイト公開: 岩田書院 <http://www.iwata-shoin.co.jp>

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757

*本誌は、140号より、PDF版のみの発行です。